

知識はあっても、教育されていない

クルアーン・ハディース・科学が説く知識と礼節（アダブ）と心

Hj Che Alim Hj Che Haron
guranscience.my

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

知識はあっても、教育されていない

クルアーン・ハディース・科学が説く知識と礼節（アダブ）と心

وَقُل رَّبِّ زِدْنِي عِلْمًا

「主よ、わたしの知識を深めて下さい。」

SURAH TAHA 20:114

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売はできません。

謝辞

すべての称賛は、筆によって教え、人間に未知のことを教えられた主、アッラーに。

優しく慈愛深い最も偉大な師、アッラーの使徒 ﷺ の上に、祝福と平安あれ。

この電子書籍を、愛する妻

ZAHARAH MOHD LATIF、

愛する子どもたち

MUHAMMAD HAFIZ、**NOOR HAZWANI**、**ABDUL HAKIM**、**NOOR HIDAYAH**、**NOR AQILA**、**NOR ATIQAH**、

そして義理の息子・娘たち

FAZILAH、**MALEK**、**HANIN**、**FAIRIZAL**、**FIRWAN** に捧げる。

アッラーが私たち皆を、真に教育された知識の民としてくださり、この知識をイルムン・ユンタファウ・ビヒ ― 役に立つ知識 ― としてくださいますように。

表紙について

この電子書籍の表紙は、夜明けの光によって静かに二つに分けられている。左側では、ひび割れたなめらかな岩に雨が降り、その上には本の山と巻かれた卒業証書が置かれているが、雨水はただ流れ去り、岩の端からしたたり落ちる — 何も育たず、一枚の枯れ葉が落ちるだけである。これは**知識はあっても教育されていない**人の姿である。『サヒーフ・ブハーリー』79 番のハディースのなめらかな土地のように、また益を得ずに「書物を背負う」者たちのように（合同礼拝章 62:5）。

右側では、同じ雨が肥えた土にしみ込んでいる。開かれた本から若木が育ち、その根はページを突き抜け、葉は光に向かって緑に茂る。これが**教育された**人である — 心にしみ込み、行いとなって育ち、他者に益をもたらす知識である。

上部には三つの立体的な金色のもの — 耳、目、心 — が浮かんでおり、蜜蜂章 16:78 を思い起こさせる。人が感謝するようにとアッラーが授けられた、学ぶための道具である。金色はこれらの恵みの価値を表し、その輝きは、これらの道具がアッラーを知るために使われるときにだけ「輝く」ことを示している。雲の間にはイスラーム幾何学の星模様がかすかに見え、あらゆる知識がタウヒードのもとに守られていることを示している。緑は生きた知識を、岩の灰色は凍りついた知識を表している。

目次

知識はあっても、教育されていない — 雌牛章 2:30–33

1.「学ぶ」という行為の起源 — 蜜蜂章 16:78

2. 教育におけるイスラームの役割 — 凝血章 96:1–5、合同礼拝章 62:2、抗弁する女章 58:11

3. イスラーム教育とは何か？ — タルビヤ、タアリーム、タアディーブ

4. イスラームと教育の統合 — イムラーン家章 3:190–191、創造者章 35:27–28

5. 置き去りにされた想像する力 — 雌牛章 2:260、『スナン・アビー・ダーウード』4932

6. 感情なしに学ぶことはできない — イムラーン家章 3:159、『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』261、『サヒーフ・ブハーリー』6008

7. 知識のある人と教育された人 — 合同礼拝章 62:5、戦列章 61:2–3

参考文献

支援と寄付

色の案内：緑の枠＝クルアーンの節、金色の枠＝ハディース、青の枠＝科学的知見、灰色の枠＝アサル／学者の言葉。下線付きの青い伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者ページが開く。

知識はあっても、教育されていない

私たちは人類史上最も「学歴のある」時代に生きている。資格、学位、情報はいとも簡単に手に入り、今や世界中の図書館が指先にある。しかし同時に私たちは、肩書きのある人の汚職、賢い人の詐欺、弁の立つ人のソーシャルメディアでの無礼、そして試験では優秀なのに親への敬意を失った子どもたちを目にしている。これこそが**知識はあっても教育されていない**ということである。知識は頭の中で増えても、心に降りてこず、人柄に現れないのである。

本書は、クルアーン、判定の確認されたハディース、信頼される学者たちの解説、そして現代の科学研究の知見に導かれながら、この問いを探っていく。その出発点は、人類史における知識についての最初の物語 — アッラーが預言者アーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ にあらゆるものの名を教えられた時である。

雌牛章 2:30–33

وَإِذْ قَالَ رَبُّكَ لِلْمَلَٰٓئِكَةِ إِنِّي جَاعِلٌ فِي ٱلْأَرْضِ خَلِيفَةً ۖ قَالُوٓا۟ أَتَجْعَلُ فِيهَا مَن يُفْسِدُ فِيهَا وَيَسْفِكُ ٱلدِّمَآءَ وَنَحْنُ نُسَبِّحُ بِحَمْدِكَ وَنُقَدِّسُ لَكَ ۖ قَالَ إِنِّيٓ أَعْلَمُ مَا لَا تَعْلَمُونَ ﴿٣٠﴾

またあなたの主が（先に）天使たちに向かって、「本当にわれは、地上に代理者を置くであろう。」と仰せられた時を思い起せ。かれらは申し上げた。「あなたは地上で悪を行い、血を流す者を置かれるのですか。わたしたちは、あなたを讃えて唱念し、またあなたの神聖を譲美していますのに。」かれは仰せられた。「本当にわれはあなたがたが知らないことを知っている。」

وَعَلَّمَ ءَادَمَ ٱلْأَسْمَآءَ كُلَّهَا ثُمَّ عَرَضَهُمْ عَلَى ٱلْمَلَٰٓئِكَةِ فَقَالَ أَنۢبِـُٔونِى بِأَسْمَآءِ هَٰٓؤُلَآءِ إِن كُنتُمْ صَٰدِقِينَ ﴿٣١﴾

かれはアーダムに凡てのものの名を教え、次にそれらを天使たちに示され、「もし、あなたがた（の言葉）が真実なら、これらのものの名をわれに言ってみなさい。」と仰せられた。

قَالُوا۟ سُبْحَٰنَكَ لَا عِلْمَ لَنَآ إِلَّا مَا عَلَّمْتَنَآ ۖ إِنَّكَ أَنتَ ٱلْعَلِيمُ ٱلْحَكِيمُ ﴿٣٢﴾

かれらは（答えて）申し上げた。「あなたの栄光を讃えます。あなたが、わたしたちに教えられたものの外には、何も知らないのです。本当にあなたは、全知にして英明であられます。」

قَالَ يَٰٓـَٔادَمُ أَنۢبِئْهُم بِأَسْمَآئِهِمْ ۖ فَلَمَّآ أَنۢبَأَهُم بِأَسْمَآئِهِمْ قَالَ أَلَمْ أَقُل لَّكُمْ إِنِّىٓ أَعْلَمُ غَيْبَ ٱلسَّمَٰوَٰتِ وَٱلْأَرْضِ وَأَعْلَمُ مَا تُبْدُونَ وَمَا كُنتُمْ تَكْتُمُونَ ﴿٣٣﴾

かれは仰せられた。「アーダムよ、それらの名をかれら（天使）に告げよ。」そこでアーダムがそれらの名をかれらに告げると、かれは、「われは天と地の奥義を知っているとあなたがたに告げたではないか。あなたがたが現わすことも、隠すことも知っている。」と仰せられた。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:30-33

説明と信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールはそのタフスィールで、イブン・アッバース رضى الله عنهما からの伝承を引用している。アーダムに教えられた「名」とは、人が知るあらゆるもの — 人、動物、大地、海、丘など — の名であり、小さなものにまで及ぶ。つまりアーダムは、世界を見分け、名づけ、分類する能力を授けられたのであり、それが人類のあらゆる知識の土台である。タフスィール・イブン・カスィール 2:31

イマーム・クルトゥビーは『アル＝ジャーミウ・リ・アフカーム・アル＝クルアーン』において、この節を知識の徳の証拠としている。アーダムは尊ばれ、その知識の優越が明らかになった後、天使たちは彼に跪拝するよう命じられた。彼はまた天使たちの答え「あなたの栄光を讃えます。あなたが教えられたもののほか、わたしたちには何も知識がありません」（2:32）から、知らないことを尋ねられた者は知らないと認め、その知識をアッラーに委ねるべきだという教訓を引き出している — それが知識ある者の礼節である。タフスィール・クルトゥビー 2:32

シャイフ・アブドゥッラフマーン・サアディーは『タイスィール・アル＝カリーム・アッ＝ラフマーン』において、この物語は知識の尊さを明らかにし、清らかな被造物である天使たちが、すぐに自らの不足とアッラーの知識と英知の完全さを認めたことを示していると結論づけている。この承認そのものが、知識を与える御方への礼節の一つの形なのである。タフスィール・サアディー 2:30

教訓：二つの人物、二つの道

続く節（2:34–37）と合わせて読むと、この物語は本書の題名を映し出す二つの人物を示している。**イブリース**は無知な被造物ではなかった — 彼はアッラーを知り、その命令を直接聞き、論理で反論さえした（「わたしはかれよりも優れています」7:12）。しかし彼の知識は服従を生まず、傲慢を生んだ。これが「知識はあっても教育されていない」の最初の例である。**アーダム** عَلَيْهِ السَّلَامُ は、知識を授けられていながら過ちを犯したとき、すぐに自分の誤りを認め、主から「言葉」を受けて悔悟した（2:37）。アーダムの知識は礼節を実らせ、イブリースの知識は傲慢を実らせたのである。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』4476 番

حَدَّثَنَا مُسْلِمُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، حَدَّثَنَا هِشَامٌ، حَدَّثَنَا قَتَادَةُ، عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم. وَقَالَ لِي خَلِيفَةُ حَدَّثَنَا يَزِيدُ بْنُ زُرَيْعٍ حَدَّثَنَا سَعِيدٌ عَنْ قَتَادَةَ عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ « يَجْتَمِعُ الْمُؤْمِنُونَ يَوْمَ الْقِيَامَةِ فَيَقُولُونَ لَوِ اسْتَشْفَعْنَا إِلَى رَبِّنَا فَيَأْتُونَ آدَمَ فَيَقُولُونَ أَنْتَ أَبُو النَّاسِ، خَلَقَكَ اللَّهُ بِيَدِهِ وَأَسْجَدَ لَكَ مَلاَئِكَتَهُ، وَعَلَّمَكَ أَسْمَاءَ كُلِّ شَىْءٍ، فَاشْفَعْ لَنَا عِنْدَ رَبِّكَ حَتَّى يُرِيحَنَا مِنْ مَكَانِنَا هَذَا. فَيَقُولُ لَسْتُ هُنَاكُمْ ـ وَيَذْكُرُ ذَنْبَهُ فَيَسْتَحِي ـ ائْتُوا نُوحًا فَإِنَّهُ أَوَّلُ رَسُولٍ بَعَثَهُ اللَّهُ إِلَى أَهْلِ الأَرْضِ. فَيَأْتُونَهُ فَيَقُولُ لَسْتُ هُنَاكُمْ. وَيَذْكُرُ سُؤَالَهُ رَبَّهُ مَا لَيْسَ لَهُ بِهِ عِلْمٌ فَيَسْتَحِي، فَيَقُولُ ائْتُوا خَلِيلَ الرَّحْمَنِ. فَيَأْتُونَهُ فَيَقُولُ لَسْتُ هُنَاكُمْ، ائْتُوا مُوسَى عَبْدًا كَلَّمَهُ

اللَّهُ وَأَعْطَاهُ التَّوْرَاةَ. فَيَأْتُونَهُ فَيَقُولُ لَسْتُ هُنَاكُمْ. وَيَذْكُرُ قَتْلَ النَّفْسِ بِغَيْرِ نَفْسٍ فَيَسْتَحِي مِنْ رَبِّهِ فَيَقُولُ ائْتُوا عِيسَى عَبْدَ اللَّهِ وَرَسُولَهُ، وَكَلِمَةَ اللَّهِ وَرُوحَهُ. فَيَقُولُ لَسْتُ هُنَاكُمْ، ائْتُوا مُحَمَّدًا صلى الله عليه وسلم عَبْدًا غَفَرَ اللَّهُ لَهُ مَا تَقَدَّمَ مِنْ ذَنْبِهِ وَمَا تَأَخَّرَ. فَيَأْتُونِي فَأَنْطَلِقُ حَتَّى أَسْتَأْذِنَ عَلَى رَبِّي فَيُؤْذَنُ {لِي} فَإِذَا رَأَيْتُ رَبِّي وَقَعْتُ سَاجِدًا، فَيَدَعُنِي مَا شَاءَ اللَّهُ ثُمَّ يُقَالُ ارْفَعْ رَأْسَكَ، وَسَلْ تُعْطَهْ، وَقُلْ يُسْمَعْ، وَاشْفَعْ تُشَفَّعْ. فَأَرْفَعُ رَأْسِي فَأَحْمَدُهُ بِتَحْمِيدٍ يُعَلِّمُنِيهِ، ثُمَّ أَشْفَعُ، فَيَحُدُّ لِي حَدًّا، فَأُدْخِلُهُمُ الْجَنَّةَ، ثُمَّ أَعُودُ إِلَيْهِ، فَإِذَا رَأَيْتُ رَبِّي ـ مِثْلَهُ ـ ثُمَّ أَشْفَعُ، فَيَحُدُّ لِي حَدًّا، فَأُدْخِلُهُمُ الْجَنَّةَ {ثُمَّ أَعُودُ الثَّالِثَةَ} ثُمَّ أَعُودُ الرَّابِعَةَ فَأَقُولُ مَا بَقِيَ فِي النَّارِ إِلاَّ مَنْ حَبَسَهُ الْقُرْآنُ وَوَجَبَ عَلَيْهِ الْخُلُودُ ». قَالَ أَبُو عَبْدِ اللَّهِ « إِلاَّ مَنْ حَبَسَهُ الْقُرْآنُ ». يَعْنِي قَوْلَ اللَّهِ تَعَالَى {خَالِدِينَ فِيهَا}.

日本語訳：

アナス رضى الله عنه は、預言者 ﷺ がこう言われたと伝えた。「信仰者たちは復活の日に集まり、言うだろう。『私たちの主にとりなしを求めることができればよいのに。』そして彼らはアーダムのもとに来て言う。『あなたは人類の父です。アッラーはご自分の手であなたを創り、天使たちにあなたへ跪拝させ、あらゆるものの名をあなたに教えられました。どうか主のもとで私たちのためにとりなし、私たちをこの場所から解放してくださるよう願ってください。』アーダムは言う。『私はそれにふさわしい者ではない』―そして自分の罪を挙げて恥じる―『ヌーフのもとへ行きなさい。彼はアッラーが地上の民に遣わされた最初の使徒である。』彼らが彼のもとに来ると、ヌーフは言う。『私はそれにふさわしい者ではない』―そして知識のないことについて主に願ったことを挙げて恥じ―『慈悲深き御方の親友（イブラーヒーム）のもとへ行きなさい』と言う。彼らが彼のもとに来ると、彼は言う。『私はそれにふさわしい者ではない。ムーサーのもとへ行きなさい。アッラーが語りかけ、律法を授けられた僕である。』彼らが彼のもとに来ると、彼は言う。『私はそれにふさわしい者ではない』―そして自分が犯した殺人を挙げて主の前に恥じ―『イーサーのもとへ行きなさい。アッラーの僕であり使徒、アッラーの言葉、そしてアッラーからの霊である』と言う。イーサーは言う。『私はそれにふさわしい者ではない。ムハンマド ﷺ のもとへ行きなさい。アッラーがその過去と未来の罪を赦された僕である。』そこで彼らは私のもとに来る。私は出かけて行き、主にお目通りの許しを求め、許される。主を見ると、私はひれ伏して跪拝する。アッラー

が望まれる間、私は（そのままに）置かれ、それから言われる。『頭を上げよ。願え、与えられよう。語れ、聞き届けられよう。とりなせ、そのとりなしは受け入れられよう。』そこで私は頭を上げ、主が私に教えられる賛美で主を称え、それからとりなす。すると主は私に一つの範囲を定められ、私は彼らを天国に入れる。それから私は主のもとに戻り、主を見ると ― 先ほどと同じことが起こり ― とりなし、主は私に一つの範囲を定められ、私は彼らを天国に入れる。それから私は三度目、そして四度目に戻り、言う。『クルアーンが閉じ込め、永遠（にそこにとどまること）が定まった者のほかには、火獄に残る者はいません。』」アブー・アブドゥッラー（イマーム・ブハーリー）は言った。「『クルアーンが閉じ込めた者のほかには』とは、至高なるアッラーの御言葉『かれらはその中に永遠に住むであろう』を指す。」

伝承経路：イマーム・ブハーリーの伝承：ムスリム・イブン・イブラーヒーム ← ヒシャーム・ダストゥワーイー ← カターダ ← アナス・イブン・マーリク رضي الله عنه。第二の経路：ハリーファ・イブン・ハイヤート ← ヤズィード・イブン・ズライウ ← サイード・イブン・アビー・アルーバ ← カターダ ← アナス・イブン・マーリク رضي الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典：イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「タフスィールの書」、「アッラーの御言葉『ワ・アッラマ・アーダマ・ル＝アスマーア・クッラハー』」の章、ハディース 4476 番に伝える。

判定：サヒーフ（真正） ― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者たちの合意によれば、クルアーンに次いで最も真正な書である。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:4476

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』79 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ الْعَلاَءِ، قَالَ حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ أُسَامَةَ، عَنْ بُرَيْدِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ، عَنْ أَبِي بُرْدَةَ، عَنْ أَبِي مُوسَى، عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَثَلُ مَا بَعَثَنِي اللَّهُ بِهِ مِنَ الْهُدَى وَالْعِلْمِ كَمَثَلِ الْغَيْثِ الْكَثِيرِ أَصَابَ أَرْضًا، فَكَانَ مِنْهَا نَقِيَّةٌ قَبِلَتِ الْمَاءَ، فَأَنْبَتَتِ الْكَلأَ وَالْعُشْبَ الْكَثِيرَ، وَكَانَتْ مِنْهَا أَجَادِبُ أَمْسَكَتِ الْمَاءَ، فَنَفَعَ اللَّهُ بِهَا النَّاسَ، فَشَرِبُوا وَسَقَوْا وَزَرَعُوا، وَأَصَابَتْ مِنْهَا طَائِفَةً أُخْرَى، إِنَّمَا هِيَ قِيعَانٌ لاَ تُمْسِكُ مَاءً، وَلاَ تُنْبِتُ كَلأً، فَذَلِكَ مَثَلُ مَنْ فَقِهَ فِي دِينِ اللَّهِ وَنَفَعَهُ مَا بَعَثَنِي اللَّهُ بِهِ، فَعَلِمَ وَعَلَّمَ، وَمَثَلُ مَنْ لَمْ يَرْفَعْ

بِذَلِكَ رَأْسًا، وَلَمْ يَقْبَلْ هُدَى اللَّهِ الَّذِي أُرْسِلْتُ بِهِ ». قَالَ أَبُو عَبْدِ اللَّهِ قَالَ إِسْحَاقُ وَكَانَ مِنْهَا طَائِفَةٌ قَيَّلَتِ الْمَاءَ. قَاعٌ يَعْلُوهُ الْمَاءُ، وَالصَّفْصَفُ الْمُسْتَوِي مِنَ الأَرْضِ.

日本語訳：

アブー・ムーサー رضى الله عنه は、預言者 ﷺ がこう言われたと伝えた。「アッラーが私に託して遣わされた導きと知識のたとえは、大地に降る豊かな雨のようである。その一部は肥えた土地で、水を吸い込み、多くの草や植物を生やした。一部は固い土地で、水をたたえ、アッラーはそれによって人々に益を与えられた。人々は飲み、（家畜に）飲ませ、耕した。また雨は別の一部、すなわち水をたたえることも草を生やすこともないなめらかな土地にも降った。これが、アッラーの宗教を理解し、私が託されて遣わされたものから益を得て、学び、そして教える者のたとえであり、またそれに少しも頭を上げず、私が託されて遣わされたアッラーの導きを受け入れない者のたとえである。」アブー・アブドゥッラー（ブハーリー）は言った。イスハークは「そしてその一部は水を吸い込んだ」と言った。カーウとは水がたまる土地であり、サフサフとは平らな土地である。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・イブン・アラーゥ ← ハンマード・イブン・ウサーマ ← ブライド・イブン・アブドゥッラー ← アブー・ブルダ ← アブー・ムーサー・アシュアリー رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「知識の書」、「学び教える者の徳」の章、ハディース 79 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:79

この三種類の土地のハディースは、私たちの題名の簡潔な地図である。第一の土地は水を吸い込んで育てる — 理解され、実践され、教えられる知識であり、これが**教育された**人である。第二の土地は他者のために水をたたえる — 持ち主が深く究めていなくても伝えられる知識である。第三の土地はなめらかで — 雨が降っても何も残らない。その第三の土地も「雨に打たれた」のであり、かつて「学んだ」のである。しかし知識はしみ込まなかった。**イマーム・イブン・ハジャル・アスカラーニー**は『ファトフ・アル＝バーリー』において、このたとえは、人々を単に啓示を受けた

ことがあるかどうかではなく、そこからどれだけ益を得たかによって分けているのだと説明している。

科学的知見：人間の脳は学ぶために創られている

神経科学の研究は、学ぶとき脳が物理的に変化すること（神経可塑性）を示している。Maguire ら（2000）は、ロンドンのタクシー運転手の後部海馬が対照群より大きく、その大きさが運転経験の長さと関係していることを見出した。Draganski ら（2004）は、三か月間ジャグリングを学んだボランティアの、視覚的な動きを処理する脳領域の灰白質が増え、練習をやめるとその増加が再び減ることを示した。アーダムに授けられた「名を受け取る」能力は、その子孫一人ひとりの脳に現れている — しかし変わった脳が、変わった心であるとは限らない。

研究文献：

Maguire EA et al. (2000). Navigation-related structural change in the hippocampi of taxi drivers. PNAS 97(8):4398–4403. https://doi.org/10.1073/pnas.070039597

Draganski B et al. (2004). Neuroplasticity: changes in grey matter induced by training. Nature 427:311–312. https://doi.org/10.1038/427311a

注：科学的知見は調和の証拠として示すものであり、クルアーンの真実性を「証明」するためのものではない。啓示の真実はそれ自体で成り立つ。科学は暫定的なものであり、常に見直され続ける。

「学ぶ」という行為の起源

どう教育するかを問う前に、私たちは問わなければならない。人間の学ぶ力はどこから始まるのか？クルアーンははっきりと答える — 人は何も知らずに生まれ、それからアッラーが学ぶための道具を授けられるのである。

蜜蜂章 16:78

وَٱللَّهُ أَخۡرَجَكُم مِّنۢ بُطُونِ أُمَّهَٰتِكُمۡ لَا تَعۡلَمُونَ شَيۡـٔٗا وَجَعَلَ لَكُمُ ٱلسَّمۡعَ وَٱلۡأَبۡصَٰرَ وَٱلۡأَفۡـِٔدَةَ لَعَلَّكُمۡ تَشۡكُرُونَ ٧٨

アッラーはあなたがたが何も知らない時、あなたがたを母の胎内から生まれさせ、聴覚や視覚や心（知能感情）をも授けられた。必ずあなたがたは、感謝するであろう。

日本語訳：三田了一 — quran.com/16:78

信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールは、アッラーは何も知らない状態で人間を母の胎から出され、それから音をとらえる聴覚、見るための視覚、そして益となるものと害となるものを区別するためのアフイダ（心と知性）を授けられると説明する。これらの力は、年齢とともに少しずつ段階的に育ち、やがて人は成熟に達するのだと彼は言う。タフスィール・イブン・カスィール 16:78

イマーム・クルトゥビーと注釈者たちは、クルアーンがほとんど常にアッ＝サムウ（聴覚）をアル＝アブサール（視覚）より先に挙げていることに注目している。そしてこの節は「ラアッラクム・タシュクルーン」 — あなたがたが感謝するように — で結ばれる。**シャイフ・サアディー**は、これらの恵みへの感謝とは、それらをアッラーを知り、アッラーに従うために用いることだと説明する。つまり学ぶための道具そのものに目的があるのである。タフスィール・サアディー 16:78

これが「学ぶこと」と「教育すること」の最初の境界線である。聴覚、視覚、知性は道具であるが、この節は目的 — 感謝 — を定めている。これらの道具を見事に使って情報を集めても感謝に至らない人は、教育されずに学んだのである。だからアッラーは、この三つの道具がすべて問われることを思い起こさせておられる：

夜の旅章 17:36

وَلَا تَقْفُ مَا لَيْسَ لَكَ بِهِۦ عِلْمٌۚ إِنَّ ٱلسَّمْعَ وَٱلْبَصَرَ وَٱلْفُؤَادَ كُلُّ أُوْلَٰٓئِكَ كَانَ عَنْهُ مَسْـُٔولًا ﴿٣٦﴾

またあなたは、自分の知識のないことに従ってはならない。本当に聴覚、視覚、また心の働きの凡てが（審判の日において）尋問されるであろう。

日本語訳：三田了一 — quran.com/17:36

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』1385 番

حَدَّثَنَا آدَمُ، حَدَّثَنَا ابْنُ أَبِي ذِئْبٍ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، عَنْ أَبِي سَلَمَةَ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ قَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم « كُلُّ مَوْلُودٍ يُولَدُ عَلَى الْفِطْرَةِ، فَأَبَوَاهُ يُهَوِّدَانِهِ أَوْ يُنَصِّرَانِهِ أَوْ يُمَجِّسَانِهِ، كَمَثَلِ الْبَهِيمَةِ تُنْتَجُ الْبَهِيمَةَ، هَلْ تَرَى فِيهَا جَدْعَاءَ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。預言者 ﷺ は言われた。「生まれる子はみな、フィトラ（天性）の上に生まれる。そしてその両親が彼をユダヤ教徒、キリスト教徒、あるいはゾロアスター教徒にするのである。家畜が完全な子を産むように。あなたがたはその中に（耳などを）切り取られたものを見るだろうか？」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アーダム・イブン・アビー・イヤース ← イブン・アビー・ズィウブ ← ズフリー ← アブー・サラマ・イブン・アブドゥッラフマーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「葬儀の書」、「多神教徒の子どもたちについて言われていること」の章、ハディース 1385 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:1385

イマーム・イブン・ハジャル・アスカラーニーは、フィトラとは真理とイスラームを受け入れる生来の備えであり、環境 — とりわけ両親 — がのちにそれを形づくると説明している。だから教育は学校よりずっと前に、家庭で始まる。子どもはまっすぐな「ソフトウェア」を持って生まれる。それを損なうのは誤った手本と誤った型なのである。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』6502 番（ハディース・クドゥスィー）

حَدَّثَنِي مُحَمَّدُ بْنُ عُثْمَانَ، حَدَّثَنَا خَالِدُ بْنُ مَخْلَدٍ، حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ بْنُ بِلاَلٍ، حَدَّثَنِي شَرِيكُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ أَبِي نَمِرٍ، عَنْ عَطَاءٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم « إِنَّ اللَّهَ قَالَ مَنْ عَادَى لِي وَلِيًّا فَقَدْ آذَنْتُهُ بِالْحَرْبِ، وَمَا تَقَرَّبَ إِلَىَّ عَبْدِي بِشَىْءٍ أَحَبَّ إِلَىَّ مِمَّا افْتَرَضْتُ عَلَيْهِ، وَمَا يَزَالُ عَبْدِي يَتَقَرَّبُ إِلَىَّ بِالنَّوَافِلِ حَتَّى أُحِبَّهُ، فَإِذَا أَحْبَبْتُهُ كُنْتُ سَمْعَهُ الَّذِي يَسْمَعُ بِهِ، وَبَصَرَهُ الَّذِي يُبْصِرُ بِهِ، وَيَدَهُ الَّتِي يَبْطُشُ بِهَا وَرِجْلَهُ الَّتِي يَمْشِي بِهَا، وَإِنْ سَأَلَنِي لأُعْطِيَنَّهُ، وَلَئِنِ اسْتَعَاذَنِي لأُعِيذَنَّهُ، وَمَا تَرَدَّدْتُ عَنْ شَىْءٍ أَنَا فَاعِلُهُ تَرَدُّدِي عَنْ نَفْسِ الْمُؤْمِنِ، يَكْرَهُ الْمَوْتَ وَأَنَا أَكْرَهُ مَسَاءَتَهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「アッラーは言われた。わが友（ワリー）に敵対する者に、われは戦いを宣言する。わがしもべが、われが彼に義務として課したもの以上にわれが愛するものによって、われに近づくことはない。わがしもべは任意の行いによってわれに近づき続け、ついにわれは彼を愛する。われが彼を愛するとき、われは彼が聞く耳となり、彼が見る目となり、彼が打つ手となり、彼が歩く足となる。彼がわれに願えば、われは必ず与え、われに守りを求めれば、われは必ず守る。われが行うことで、信仰者の魂を（取ること）ほどためらうことはない。彼は死を嫌い、われは彼を苦しめることを嫌うのである。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・イブン・ウスマーン ← ハーリド・イブン・マフラド ← スライマーン・イブン・ビラール ← シャリーク・イブン・アブドゥッラー・イブン・アビー・ナミル ← アターゥ・イブン・ヤサール ← アブー・フライラ رضي الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「心を和らげることの書」、「謙虚さ」の章、ハディース 6502 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:6502

このハディース・クドゥスィーは、先ほどの学ぶための道具の最高の段階を示している。僕がアッラーに愛されるとき、その聴覚と視覚は導かれ、アッラーが喜ばれることだけを聞き、見るようになる。**イブン・ラジャブ・ハンバリー**が『ジャーミウ・アル＝ウルーム・ワ・アル＝ヒカム』で述べているように、学者たちはその意味を、それらの器官に対するアッラーの導きと守りであると説明している — アッラーが被造物と一体になるという意味ではない。これこそ教育の頂点である。学ぶための道具が服従のための道具となるのである。

科学的知見：聴覚は視覚より先に来る

胎児の発達の研究は、聴覚系が視覚系より早く機能することを示している。Graven と Browne（2008）は、胎児が妊娠 25 週ごろから音に反応し始め、聴覚系は妊娠後期に急速に発達する一方、視覚系は出生時にも最も未熟な感覚の一つであると報告している。この節の「聴覚、次に視覚、次に心」という順序は、人間の感覚の発達の順序と調和している。

研究文献：

Graven SN & Browne JV (2008). Auditory development in the fetus and infant. Newborn and Infant Nursing Reviews 8(4):187–193. https://doi.org/10.1053/j.nainr.2008.10.010

教育におけるイスラームの役割

イスラームは、のちに知識を「許可した」宗教として来たのではない。イスラームは知識とともに来たのである。ヒラー洞窟でアッラーの使徒 ﷺ に下された最初の啓示は読むことの命令であり、最初に挙げられた道具は筆であった。

凝血章 96:1–5

ٱقۡرَأۡ بِٱسۡمِ رَبِّكَ ٱلَّذِي خَلَقَ ١

読め、「創造なされる御方、あなたの主の御名において。

خَلَقَ ٱلۡإِنسَٰنَ مِنۡ عَلَقٍ ٢

一凝血から、人間を創られた。」

ٱقۡرَأۡ وَرَبُّكَ ٱلۡأَكۡرَمُ ٣

読め、「あなたの主は、最高の尊貴であられ、

ٱلَّذِي عَلَّمَ بِٱلۡقَلَمِ ٤

筆によって（書くことを）教えられた御方。

عَلَّمَ ٱلۡإِنسَٰنَ مَا لَمۡ يَعۡلَمۡ ٥

人間に未知なることを教えられた御方である。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/96:1-5

信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールは、これらの節は慈悲の始まりであり、アッラーが啓示を通じて僕たちに授けられた最初の恵みであると述べる。そこにはアラクからの人間の起源についての戒めがあり、アッラーの寛大さの一つは人間に未知のことを教えられたことである。アッラーは知識によって人間を尊ばれた — アーダムを天使たちから区別した徳である — そして知識は心の中に、舌の上に、そして文字の中にある。タフスィール・イブン・カスィール 96:1

順序に注目してほしい。「あなたの主の御名によって読め」。読むことは価値から切り離されたまま放置されず、最初の節からアッラーの御名に結びつけられている。これがイスラーム教育の土台 — タウヒードを軸とする知識 — である。

合同礼拝章 62:2

هُوَ ٱلَّذِى بَعَثَ فِى ٱلْأُمِّيِّـۧنَ رَسُولًا مِّنْهُمْ يَتْلُوا۟ عَلَيْهِمْ ءَايَـٰتِهِۦ وَيُزَكِّيهِمْ
وَيُعَلِّمُهُمُ ٱلْكِتَـٰبَ وَٱلْحِكْمَةَ وَإِن كَانُوا۟ مِن قَبْلُ لَفِى ضَلَـٰلٍ مُّبِينٍ ۝٢

かれこそは文盲の者の間に、かれらの中から使徒を遣わし、印を読み聞かせてかれらを清め、啓典と英知を教えられた方である。本当にかれらは、以前は明らかに邪道にあった。

日本語訳：三田了一 — quran.com/62:2

この節は、教育者としてのアッラーの使徒 ﷺ の四つの務めを示している。アッラーの節を読み聞かせること（ティラーワ）、魂を清めること（タズキヤ）、啓典を教えること（タアリーム・アル＝キターブ）、そして英知である。注釈者たちは、預言者イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ の祈り（2:129）ではタアリームがタズキヤより先に来るが、アッラーがこの節（および 3:164）でご自分の恵みを述べられるときにはタズキヤが先に置かれていることに注目している。その示唆は明らかである。魂を清めることが目的であり、知識はその道なのである。清めることなく教えるだけの仕組みは、預言者の使命の半分を切り落としているのである。タフスィール・サアディー 62:2

抗弁する女章 58:11

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُوٓاْ إِذَا قِيلَ لَكُمۡ تَفَسَّحُواْ فِي ٱلۡمَجَٰلِسِ فَٱفۡسَحُواْ يَفۡسَحِ ٱللَّهُ لَكُمۡۖ وَإِذَا قِيلَ ٱنشُزُواْ فَٱنشُزُواْ يَرۡفَعِ ٱللَّهُ ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ مِنكُمۡ وَٱلَّذِينَ أُوتُواْ ٱلۡعِلۡمَ دَرَجَٰتٖۚ وَٱللَّهُ بِمَا تَعۡمَلُونَ خَبِيرٞ ١١

あなたがた信仰する者よ、集会のおりに（広く）席をあけなさいと言われた時は、直ぐ席を譲れ。アッラーはあなたがたのために（十分な）席を与えられる。また立ち上るよう言われた時は、直ぐ立て。アッラーはあなたがたの中信仰する者や、知識を授けられた者の位階を上げられる。本当にアッラーは、あなたがたの行う一切を熟知なされる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/58:11

アッラーは「あなたがたのうち信仰する者、また知識を授けられた者」の位階を高められる。**イマーム・クルトゥビー**は教友イブン・マスウード رضى الله عنه の説明を引用している。アッラーは知識を授けられた信仰者を、知識を授けられなかった信仰者よりも幾段も高められる、と。つまり知識は、信仰の上に立つときに位階を高めるのであり、信仰のない知識はアッラーのもとでの位階を約束しない。タフスィール・クルトゥビー 58:11

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』2699A 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ يَحْيَى التَّمِيمِيُّ، وَأَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ وَمُحَمَّدُ بْنُ الْعَلاَءِ الْهَمْدَانِيُّ - وَاللَّفْظُ لِيَحْيَى - قَالَ يَحْيَى أَخْبَرَنَا وَقَالَ الآخَرَانِ، حَدَّثَنَا أَبُو مُعَاوِيَةَ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ أَبِي صَالِحٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم « مَنْ نَفَّسَ عَنْ مُؤْمِنٍ كُرْبَةً مِنْ كُرَبِ الدُّنْيَا نَفَّسَ اللَّهُ عَنْهُ كُرْبَةً مِنْ كُرَبِ يَوْمِ الْقِيَامَةِ وَمَنْ يَسَّرَ عَلَى مُعْسِرٍ يَسَّرَ اللَّهُ عَلَيْهِ فِي الدُّنْيَا وَالآخِرَةِ وَمَنْ سَتَرَ مُسْلِمًا سَتَرَهُ اللَّهُ فِي الدُّنْيَا وَالآخِرَةِ وَاللَّهُ فِي عَوْنِ الْعَبْدِ مَا كَانَ الْعَبْدُ فِي عَوْنِ أَخِيهِ وَمَنْ سَلَكَ طَرِيقًا يَلْتَمِسُ فِيهِ عِلْمًا سَهَّلَ اللَّهُ لَهُ بِهِ طَرِيقًا إِلَى الْجَنَّةِ وَمَا اجْتَمَعَ قَوْمٌ فِي بَيْتٍ مِنْ بُيُوتِ اللَّهِ يَتْلُونَ كِتَابَ اللَّهِ وَيَتَدَارَسُونَهُ

بَيْنَهُمْ إِلاَّ نَزَلَتْ عَلَيْهِمُ السَّكِينَةُ وَغَشِيَتْهُمُ الرَّحْمَةُ وَحَفَّتْهُمُ الْمَلاَئِكَةُ وَذَكَرَهُمُ اللَّهُ فِيمَنْ عِنْدَهُ وَمَنْ بَطَّأَ بِهِ عَمَلُهُ لَمْ يُسْرِعْ بِهِ نَسَبُهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「信仰者の現世の苦難の一つを取り除く者は、アッラーがその者の復活の日の苦難の一つを取り除かれる。困窮している者のために事を容易にする者は、アッラーがその者のために現世と来世で事を容易にされる。ムスリムの（欠点を）覆う者は、アッラーがその者の（欠点を）現世と来世で覆われる。僕が兄弟を助けている限り、アッラーはその僕を助けられる。知識を求めて道を歩む者には、アッラーがそれによって天国への道を容易にされる。人々がアッラーの家の一つに集まり、アッラーの啓典を読み、互いに学び合うならば、必ず彼らの上に静けさが降り、慈悲が彼らを覆い、天使たちが彼らを取り囲み、アッラーはご自分のもとにいる者たちの間で彼らのことを語られる。そして行いが遅れた者を、その血筋が速めることはない。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・ヤフヤー・タミーミー、アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ と ムハンマド・イブン・アラーゥ・ハムダーニー ← アブー・ムアーウィヤ ← アアマシュ ← アブー・サーリフ・サンマーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「唱念・祈願・悔悟・赦しを請うことの書」、「クルアーンを読み唱念するために集まることの徳」の章、ハディース 2699a 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2699a

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』71 番

حَدَّثَنَا سَعِيدُ بْنُ عُفَيْرٍ، قَالَ حَدَّثَنَا ابْنُ وَهْبٍ، عَنْ يُونُسَ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، قَالَ قَالَ حُمَيْدُ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ سَمِعْتُ مُعَاوِيَةَ، خَطِيبًا يَقُولُ سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ « مَنْ يُرِدِ اللَّهُ بِهِ خَيْرًا يُفَقِّهْهُ فِي الدِّينِ، وَإِنَّمَا أَنَا قَاسِمٌ وَاللَّهُ يُعْطِي، وَلَنْ تَزَالَ هَذِهِ الأُمَّةُ قَائِمَةً عَلَى أَمْرِ اللَّهِ لاَ يَضُرُّهُمْ مَنْ خَالَفَهُمْ حَتَّى يَأْتِيَ أَمْرُ اللَّهِ ».

日本語訳：

フマイド・イブン・アブドゥッラフマーンは言った。私はムアーウィヤが説教でこう言うのを聞いた。私は預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「アッラーが善を望まれる者には、宗教の理解を授けられる。私はただ分配する者であり、与えるのはアッラーである。このウンマはアッラーの命令の上に立ち続け、彼らに反する者も、アッラーの命令が来るまで彼らを害することはない。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：サイード・イブン・ウファイル ← アブドゥッラー・イブン・ワフブ ← ユーヌス・イブン・ヤズィード ← イブン・シハーブ・ズフリー ← フマイド・イブン・アブドゥッラフマーン ← ムアーウィヤ・イブン・アビー・スフヤーン رضي الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「知識の書」、「アッラーが善を望まれる者には宗教の理解を授けられる」の章、ハディース 71 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:71

このハディースにおける善の尺度は、情報の多さではなく、フィクフ — 深い理解 — である。**イマーム・ナワウィー**は、『サヒーフ・ムスリム』の同じ伝承を注釈して、このハディースが知識と宗教の理解の徳を示し、それを奨励していると説明する。理解（フィクフ）とは、考え方や行動に影響するまで消化された知識であり — それこそが、教育された人と単に暗記するだけの人とを分けるものである。

歴史の足跡：知識によって築かれた文明

教育におけるイスラームの役割は理論ではない。預言者のモスクそのものが学びの場として機能し、アフル・アッ＝スッファが専従の学生であった。モロッコのフェズにあるカラウィーイーン大学は、859 年にムスリム女性ファーティマ・フィフリーによって創設され、ギネス世界記録によって現存し運営されている世界最古の教育機関と認められている。イブン・スィーナー、フワーリズミー、イブン・ハイサムのような学者たちは、知識を信仰から切り離さない伝統から生まれたのである。

イスラーム教育とは何か？

ムスリムの学者たちは、教育について三つの主な用語を用いる。タルビヤ、タアリーム、タアディーブである。三つともクルアーンとスンナに根ざしており、その違いを理解することが本書の題名を理解する鍵である。

タルビヤ — 愛情をもって育てる

夜の旅章 17:24

وَٱخۡفِضۡ لَهُمَا جَنَاحَ ٱلذُّلِّ مِنَ ٱلرَّحۡمَةِ وَقُل رَّبِّ ٱرۡحَمۡهُمَا كَمَا رَبَّيَانِي صَغِيرًا

﴿٢٤﴾

そして敬愛の情を込め、両親に対し謙虚に翼を低く垂れ（優しくし）て、「主よ、幼少の頃、わたしを愛育してくれたように、2人の上に御慈悲を御授け下さい。」と（折りを）言うがいい。

日本語訳：三田了一 — quran.com/17:24

ラッバヤーニー（彼らが私を育てた）という語は、タルビヤと同じ語根から来ている。クルアーンの語彙学者**ラーギブ・イスファハーニー**は『アル＝ムフラダート』において、アッ＝タルビヤ（アッ＝ラッブ）とは、ものを段階的にその完成へと導くことだと説明している — 両親が愛情をもって少しずつ子を育てるように。この節がタルビヤをラフマ（慈しみ）と結びつけていることに注目してほしい。「わたしが幼い時、かれらがわたしを愛育したように。」真の教育は愛の上に築かれるのである。タフスィール・クルトゥビー 17:24

タアリーム — 知識を伝える

雌牛章 2:151

كَمَآ أَرۡسَلۡنَا فِيكُمۡ رَسُولٗا مِّنكُمۡ يَتۡلُواْ عَلَيۡكُمۡ ءَايَٰتِنَا وَيُزَكِّيكُمۡ
وَيُعَلِّمُكُمُ ٱلۡكِتَٰبَ وَٱلۡحِكۡمَةَ وَيُعَلِّمُكُم مَّا لَمۡ تَكُونُواْ تَعۡلَمُونَ ١٥١

われはあなたがたの一人をわが使徒として遣わし、わが印をあなたがたに読誦して、あなたがたを清め、また啓典と英知を教え、あなたがたの知らなかったことを教えさせた。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:151

タアリームとは知識を移す過程である。「またあなたがたの知らなかったことを教える。」しかしこの節でも、タアリームはユザッキークム（あなたがたを清める）と並べて置かれている。クルアーンは預言者の使命の文脈で、タアリームを単独で挙げることは決してないのである。

タアディーブ — 礼節（アダブ）を植えつける

サイイド・ムハンマド・ナキーブ・アル＝アッタース教授は、マッカでの第1回世界ムスリム教育会議（1977 年）の基調講演と、著書『The Concept of Education in Islam』（1980 年）において、イスラーム教育を表す最も正確な用語はタアディーブ — 礼節を植えつけること — であると論じた。彼によれば、礼節とはあらゆるものの正しい位置を認め、受け入れることである。アッラーをその位置に、使徒をその位置に、知識をその位置に、自分自身をその位置に。ウンマの危機は礼節の喪失（*loss of adab*）、すなわち偽りの指導者や偽りの知識人を生み出す知識の混乱に由来するとアル＝アッタースは言う。これこそが「知識はあっても教育されていない」という現象の最も正確な説明である。人はタアディーブなしにタアリームを受けることができるのである。

ルクマーン章 31:13

وَإِذْ قَالَ لُقْمَٰنُ لِٱبْنِهِۦ وَهُوَ يَعِظُهُۥ يَٰبُنَيَّ لَا تُشْرِكْ بِٱللَّهِ ۖ إِنَّ ٱلشِّرْكَ لَظُلْمٌ عَظِيمٌ ﴿١٣﴾

さてルクマーンが、自分の息子を戒めてこう言った時を思い起しなさい。「息子よ、アッラーに（外の神を）同等に配してはならない。それを配するのは、大変な不義である。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/31:13

賢者ルクマーンは息子の教育をタウヒードから、そして「ヤー・ブナイヤ」（愛しい息子よ）という愛情のこもった呼びかけから始めた。**シャイフ・サアディー**は、この章のルクマーンの訓戒が信条・崇拝・人柄の土台を集めたものであり、家庭から始まるイスラーム教育の完全なカリキュラムであると述べている。タフスィール・サアディー 31:13

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』893 番

حَدَّثَنَا بِشْرُ بْنُ مُحَمَّدٍ، قَالَ أَخْبَرَنَا عَبْدُ اللَّهِ، قَالَ أَخْبَرَنَا يُونُسُ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ أَخْبَرَنَا سَالِمُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ « كُلُّكُمْ رَاعٍ ». وَزَادَ اللَّيْثُ قَالَ يُونُسُ كَتَبَ رُزَيْقُ بْنُ حُكَيْمٍ إِلَى ابْنِ شِهَابٍ ـ وَأَنَا مَعَهُ يَوْمَئِذٍ بِوَادِي الْقُرَى ـ هَلْ تَرَى أَنْ أُجَمِّعَ. وَرُزَيْقٌ عَامِلٌ عَلَى أَرْضٍ يَعْمَلُهَا، وَفِيهَا جَمَاعَةٌ مِنَ السُّودَانِ وَغَيْرِهِمْ، وَرُزَيْقٌ يَوْمَئِذٍ عَلَى أَيْلَةَ، فَكَتَبَ ابْنُ شِهَابٍ ـ وَأَنَا أَسْمَعُ ـ يَأْمُرُهُ أَنْ يُجَمِّعَ، يُخْبِرُهُ أَنَّ سَالِمًا حَدَّثَهُ أَنَّ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ عُمَرَ يَقُولُ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ « كُلُّكُمْ رَاعٍ، وَكُلُّكُمْ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، الإِمَامُ رَاعٍ وَمَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، وَالرَّجُلُ رَاعٍ فِي أَهْلِهِ وَهْوَ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، وَالْمَرْأَةُ رَاعِيَةٌ فِي بَيْتِ زَوْجِهَا وَمَسْئُولَةٌ عَنْ رَعِيَّتِهَا، وَالْخَادِمُ رَاعٍ فِي مَالِ سَيِّدِهِ وَمَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ ـ قَالَ وَحَسِبْتُ أَنْ قَدْ قَالَ ـ وَالرَّجُلُ رَاعٍ فِي مَالِ أَبِيهِ وَمَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ وَكُلُّكُمْ رَاعٍ وَمَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ ».

日本語訳：

イブン・ウマル رضى الله عنهما は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと伝えた。「あなたがたは皆、牧者である。」ライスは付け加えた。ユーヌスは言った。ルザイク・イブン・フカイムがイブン・シハーブに手紙を書き ― その日、私はワーディ・ル＝クラーで彼と一緒にいた ― 「私が金曜礼拝を行うことをどう思いますか？」と尋ねた。ルザイクは当時、スーダン人の一団とその他の人々がいる土地を耕しており、その日アイラの総督であった。イブン・シハーブは返事を書き ― 私はそれを聞いた ― 金曜礼拝を行うよう命じ、サーリムが彼に、アブドゥッラー・イブン・ウマルがこう言ったと語ったことを伝えた。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「あなたがたは皆牧者であり、皆その群れについて問われる。指導者（統治者）は牧者であり、その民について問われる。男は家族の牧者であり、その群れについて問われる。女は夫の家の牧者であり、その責任について問われる。使用人は主人の財産の牧者であり、その責任について問われる。」 ― イブン・ウマルは言った。彼はこうも言われたと思う。 ― 「男は父の財産の牧者であり、その責任について問われる。だからあなたがたは皆牧者であり、皆その群れについて問われるのである。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ビシュル・イブン・ムハンマド ← アブドゥッラー・イブン・ムバーラク ← ユーヌス・イブン・ヤズィード ← ズフリー ← サーリム・イブン・アブドゥッラー ← アブドゥッラー・イブン・ウマル رضى الله عنهما 。追加：ライス・イブン・サアド ← ユーヌス・イブン・ヤズィード。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「金曜礼拝の書」、「村や町での金曜礼拝」の章、ハディース 893 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正） ― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:893

ハディース ― 『スナン・アビー・ダーウード』495 番

حَدَّثَنَا مُؤَمَّلُ بْنُ هِشَامٍ، - يَعْنِي الْيَشْكُرِيَّ - حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، عَنْ سَوَّارٍ أَبِي حَمْزَةَ، - قَالَ أَبُو دَاوُد وهو سوار بن داود أبو حمزة الْمُزَنِيُّ الصَّيْرَفِيُّ - عَنْ عَمْرِو بْنِ شُعَيْبٍ، عَنْ أَبِيهِ،

عَنْ جَدِّهِ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم « مُرُوا أَوْلاَدَكُمْ بِالصَّلاَةِ وَهُمْ أَبْنَاءُ سَبْعِ سِنِينَ وَاضْرِبُوهُمْ عَلَيْهَا وَهُمْ أَبْنَاءُ عَشْرِ سِنِينَ وَفَرِّقُوا بَيْنَهُمْ فِي الْمَضَاجِعِ ».

日本語訳：

アムル・イブン・シュアイブは、その父から、その祖父から伝えた。アッラーの使徒ﷺは言われた。「子どもたちが七歳になったら礼拝を命じなさい。十歳になって（礼拝を怠るなら）それについて（傷つけない、しつけのための軽い）叩きをもって教え、寝床を分けなさい。」

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ムアンマル・イブン・ヒシャーム・ヤシュクリー ← イスマーイール・イブン・ウライヤ ← サウワール・イブン・ダーウード（アブー・ハムザ） ← アムル・イブン・シュアイブ ← その父 シュアイブ・イブン・ムハンマド ← その祖父 アブドゥッラー・イブン・アムル رضي الله عنهما ← アッラーの使徒ﷺ。

出典： イマーム・アブー・ダーウードが『スナン・アビー・ダーウード』「礼拝の書」、「子どもにいつ礼拝を命じるか」の章、ハディース 495 番に伝える。

判定： ハサン・サヒーフ ― シャイフ・アルバーニーによる判定（sunnah.com の表示による）。括弧内の言葉は学者たちの説明である。意図されているのは、傷つけない、しつけのための軽い叩きである。

ソース：https://sunnah.com/abudawud:495

このハディースは、イスラーム教育が**段階的で忍耐強い**ものであることを示している。厳しさの前に、三年間（七歳から十歳まで）の優しい言いつけがある。学者たちは、述べられている叩きは傷つけず、顔には行わない、しつけのための軽いものであり、最後の手段であって主な方法ではないと条件づけている。

アサル（ハディースではない）： カーディー・イヤードの『タルティーブ・アル＝マダーリク』には、イマーム・マーリクの母が息子に学者の衣を着せ、（彼の師である）ラビーアのもとへ行ってその知識よりも先にその礼節を学ぶよう諭したと伝えられている。この言葉は、タアディーブの概念を要約したものとして、イスラームの教育の伝統でよく知られている。

イスラームと教育の統合

知識はあっても教育されていない世代が生まれる原因の一つは、二元論 — 「宗教の知識」と「世俗の知識」の分離 — である。あたかも物理学がアッラーと無関係であり、礼拝が生活と無関係であるかのように。クルアーンは最初からこの分離を退けている。

イムラーン家章 3:190–191

إِنَّ فِي خَلْقِ ٱلسَّمَٰوَٰتِ وَٱلْأَرْضِ وَٱخْتِلَٰفِ ٱلَّيْلِ وَٱلنَّهَارِ لَءَايَٰتٍ لِّأُو۟لِى ٱلْأَلْبَٰبِ ﴿١٩٠﴾

本当に天と地の創造、また夜と昼の交替の中には、思慮ある者への印がある。

ٱلَّذِينَ يَذْكُرُونَ ٱللَّهَ قِيَٰمًا وَقُعُودًا وَعَلَىٰ جُنُوبِهِمْ وَيَتَفَكَّرُونَ فِي خَلْقِ ٱلسَّمَٰوَٰتِ وَٱلْأَرْضِ رَبَّنَا مَا خَلَقْتَ هَٰذَا بَٰطِلًا سُبْحَٰنَكَ فَقِنَا عَذَابَ ٱلنَّارِ ﴿١٩١﴾

または立ち、または座り、または横たわって（不断に）アッラーを唱念し、天と地の創造に就いて考える者は言う。「主よ、あなたは徒らに、これを御創りになったのではないのです。あなたの栄光を讃えます。火の懲罰からわたしたちを救って下さい。

日本語訳：三田了一 — quran.com/3:190-191

信頼される学者たちの解説

イマーム・イブン・カスィールは、ウルル・アルバーブとは知性が完全で清らかであり、物事の真相を理解する者たちであると説明する。191 節での彼らの描写は二つのことを合わせている。ズィクル（あらゆる状態でアッラーを想起すること）とフィクル（天と地の創造について思索すること）である。その思索の実りは単なる情報ではなく、祈りである。「主よ、あなたはこれを徒に創られたのではありませ

ん。」これが統合のモデル — 服従で終わる自然の研究 — である。タフスィール・イブン・カスィール 3:190

創造者章 35:27–28

أَلَمْ تَرَ أَنَّ ٱللَّهَ أَنزَلَ مِنَ ٱلسَّمَآءِ مَآءً فَأَخْرَجْنَا بِهِۦ ثَمَرَٰتٍ مُّخْتَلِفًا أَلْوَٰنُهَا ۚ وَمِنَ ٱلْجِبَالِ جُدَدٌۢ بِيضٌ وَحُمْرٌ مُّخْتَلِفٌ أَلْوَٰنُهَا وَغَرَابِيبُ سُودٌ ﴿٢٧﴾

あなたがたは見ないのか。アッラーは天から雨を降らせられる。それでわれは、色とりどりの果物を実らせる。また山々には、白や赤の縞があり、その外多くの色合いをもち、真黒いところもある。

وَمِنَ ٱلنَّاسِ وَٱلدَّوَآبِّ وَٱلْأَنْعَٰمِ مُخْتَلِفٌ أَلْوَٰنُهُۥ كَذَٰلِكَ ۗ إِنَّمَا يَخْشَى ٱللَّهَ مِنْ عِبَادِهِ ٱلْعُلَمَٰٓؤُا۟ ۗ إِنَّ ٱللَّهَ عَزِيزٌ غَفُورٌ ﴿٢٨﴾

また人間も鳥獣家畜も、異色とりどりである。アッラーのしもべの中で知識のある者だけがかれを畏れる。本当にアッラーは偉力ならびなく寛容であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/35:27-28

非常によく知られた節「しもべの中で、本当にアッラーを畏れる者は、只知識をもつ者だけである」は、アッラーが雨、色とりどりの果実、白・赤・黒の筋のある山々、そしてさまざまな色の人間と動物について述べられた後に来ている。その文脈は植物学、地質学、生物学である。**イマーム・イブン・カスィール**は、ここでいう学者とはアッラーを本当に知る者たちであり、その知識が完全であるほど畏れも大きくなると述べている。言い換えれば、自然についての真の知識はハシュヤ（畏れ）を生むはずであり — それこそが、その知識が「教育した」という印なのである。タフスィール・イブン・カスィール 35:28

アサル（ハディースではない）： イマーム・イブン・カスィールは、この節を解釈する際に、教友アブドゥッラー・イブン・マスウード رضى الله عنه の次のような趣旨の言葉を

引用している。知識とは多くのハディースを伝えることではなく、知識とは（アッラーへの）多くの畏れである。

ター・ハー章 20:114

فَتَعَٰلَى ٱللَّهُ ٱلۡمَلِكُ ٱلۡحَقُّۗ وَلَا تَعۡجَلۡ بِٱلۡقُرۡءَانِ مِن قَبۡلِ أَن يُقۡضَىٰٓ إِلَيۡكَ وَحۡيُهُۥۖ وَقُل رَّبِّ زِدۡنِي عِلۡمٗا ١١٤

アッラーは、いと高くおられる真の王者である。あなた（預言者ムハンマド）に対する啓示が完了しない前に、クルアーンを急いではならない。寧ろ（祈って）言いなさい。「主よ、わたしの知識を深めて下さい。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/20:114

アッラーが使徒に増やしてくださるよう求めることを命じられた唯一のものは知識である。「ラッビ・ズィドニー・イルマー」。ここでの知識は一つの分野に限られてはいない。

ハディース — 『スナン・アビー・ダーウード』3641 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدُ بْنُ مُسَرْهَدٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ دَاوُدَ، سَمِعْتُ عَاصِمَ بْنَ رَجَاءِ بْنِ حَيْوَةَ، يُحَدِّثُ عَنْ دَاوُدَ بْنِ جَمِيلٍ، عَنْ كَثِيرِ بْنِ قَيْسٍ، قَالَ كُنْتُ جَالِسًا مَعَ أَبِي الدَّرْدَاءِ فِي مَسْجِدِ دِمَشْقَ فَجَاءَهُ رَجُلٌ فَقَالَ يَا أَبَا الدَّرْدَاءِ إِنِّي جِئْتُكَ مِنْ مَدِينَةِ الرَّسُولِ صلى الله عليه وسلم لِحَدِيثٍ بَلَغَنِي أَنَّكَ تُحَدِّثُهُ عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مَا جِئْتُ لِحَاجَةٍ. قَالَ فَإِنِّي سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ « مَنْ سَلَكَ طَرِيقًا يَطْلُبُ فِيهِ عِلْمًا سَلَكَ اللَّهُ بِهِ طَرِيقًا مِنْ طُرُقِ الْجَنَّةِ وَإِنَّ الْمَلاَئِكَةَ لَتَضَعُ أَجْنِحَتَهَا رِضًا لِطَالِبِ الْعِلْمِ وَإِنَّ الْعَالِمَ لَيَسْتَغْفِرُ لَهُ مَنْ فِي السَّمَوَاتِ وَمَنْ فِي الأَرْضِ وَالْحِيتَانُ فِي جَوْفِ الْمَاءِ وَإِنَّ فَضْلَ

الْعَالِمِ عَلَى الْعَابِدِ كَفَضْلِ الْقَمَرِ لَيْلَةَ الْبَدْرِ عَلَى سَائِرِ الْكَوَاكِبِ وَإِنَّ الْعُلَمَاءَ وَرَثَةُ الأَنْبِيَاءِ وَإِنَّ الأَنْبِيَاءَ لَمْ يُوَرِّثُوا دِينَارًا وَلاَ دِرْهَمًا وَرَّثُوا الْعِلْمَ فَمَنْ أَخَذَهُ أَخَذَ بِحَظٍّ وَافِرٍ ».

日本語訳：

カスィール・イブン・カイスは言った。私はダマスカスのモスクでアブー・ッ＝ダルダーゥと一緒に座っていた。すると一人の男が彼のもとに来て言った。「アブー・ッ＝ダルダーゥよ、私は使徒 ﷺ の町からあなたのもとに来ました。あなたがアッラーの使徒 ﷺ から伝えていると聞いた一つのハディースのためです。他の用事で来たのではありません。」アブー・ッ＝ダルダーゥは言った。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「知識を求めて道を歩む者を、アッラーは天国の道の一つに歩ませられる。天使たちは知識を求める者への満足から、その翼を低く垂れる。天にいる者も地にいる者も、水の中の魚に至るまで、学者のために赦しを請う。崇拝者に対する学者の優越は、すべての星に対する満月の夜の月の優越のようである。学者たちは預言者たちの相続人である。預言者たちはディナールもディルハムも遺さず、ただ知識だけを遺した。だからそれを受け取った者は、豊かな分け前を受け取ったのである。」

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ムサッダド・イブン・ムサルハド ← アブドゥッラー・イブン・ダーウード ← アースィム・イブン・ラジャーゥ・イブン・ハイワ ← ダーウード・イブン・ジャミール ← カスィール・イブン・カイス ← アブー・ッ＝ダルダーゥ رضي الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・アブー・ダーウードが『スナン・アビー・ダーウード』「知識の書」、「知識を求めることの奨励」の章、ハディース 3641 番に伝える。

判定： サヒーフ ― シャイフ・アルバーニーによる判定（sunnah.com）。正直な注記：一部のハディース学者はこの伝承経路の弱さを論じている（ティルミズィー2682 番の版はダールッサラーム版でダイーフと判定）が、他の経路によって補強されている。イマーム・ブハーリー自身も「学者たちは預言者たちの相続人である」という一節を「知識の書」の章題にしている。

ソース：https://sunnah.com/abudawud:3641

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』2363 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، وَعَمْرٌو النَّاقِدُ، كِلاَهُمَا عَنِ الأَسْوَدِ بْنِ عَامِرٍ، - قَالَ أَبُو بَكْرٍ حَدَّثَنَا أَسْوَدُ بْنُ عَامِرٍ، - حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ سَلَمَةَ، عَنْ هِشَامِ بْنِ عُرْوَةَ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ عَائِشَةَ، وَعَنْ ثَابِتٍ، عَنْ أَنَسٍ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم مَرَّ بِقَوْمٍ يُلَقِّحُونَ فَقَالَ « لَوْ لَمْ تَفْعَلُوا لَصَلُحَ ». قَالَ فَخَرَجَ شِيصًا فَمَرَّ بِهِمْ فَقَالَ « مَا لِنَخْلِكُمْ ». قَالُوا قُلْتَ كَذَا وَكَذَا قَالَ « أَنْتُمْ أَعْلَمُ بِأَمْرِ دُنْيَاكُمْ ».

日本語訳：

アーイシャ رضى الله عنها から、またサービトがアナス رضى الله عنه から伝えた。預言者 ﷺ はナツメヤシの受粉をしている人々のそばを通り、言われた。「もしそれをしなくても、うまくいくだろう。」（アナスは）言った。すると実は出来の悪いものになった。後に彼は再び彼らのそばを通り、尋ねられた。「あなたがたのナツメヤシはどうなったのか？」彼らは言った。「あなたがこれこれとおっしゃいましたので。」彼は言われた。「あなたがたは自分たちの現世の事柄をよりよく知っている。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバとアムル・ナーキド ← アスワド・イブン・アーミル ← ハンマード・イブン・サラマ ← ヒシャーム・イブン・ウルワ ← その父 ウルワ・イブン・ズバイル ← アーイシャ رضى الله عنها。また サービト・ブナーニー ← アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「美徳の書」、「シャリーアの事柄における彼の言葉には従う義務があり、現世の生業についての彼の意見はそうではない」の章、ハディース 2363 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2363

イマーム・ナワウィーは、このハディースの章を、アッラーの使徒 ﷺ のシャリーアの事柄における言葉には従う義務があり、現世の技術的な事柄における意見はそうではない、と名づけた。このハディースは統合の美しい憲章である。啓示は価値と目的を定め、人間の専門知識は技術的な方法において尊重される。農業、医学、工学 — すべて人間のイジュティハード（努力による判断）の領域であるが、啓示の価値によって導かれるのである。

イマーム・ガザーリーは『イフヤー・ウルーム・アッ＝ディーン』（知識の書）において、医学や数学のような学問はファルド・キファーヤ（共同体の義務）に含まれると強調している — 社会の誰一人それを修めなければ、皆が罪を負うのである。**イブン・ハルドゥーン**は『歴史序説（ムカッディマ）』において、知識をナクリーヤ（啓示に基づくもの）とアクリーヤ（理性に基づくもの）に分け、その両方を一つの文明の枠組みの中で論じている。統合とは、科学の教科書にクルアーンの節を付け加えることではなく、あらゆる知識をタウヒードへと戻すことなのである。

置き去りにされた想像する力

試験に偏りすぎた教育制度は、暗記された答えを重んじ、想像された問いを脇に追いやりがちである。子どもたちは何を考えるべきかは教えられても、可能性をどのように想像するかはめったに教えられない。しかしクルアーンは繰り返し、人々に想像し、観察し、思索するよう呼びかけている。

雌牛章 2:260

وَإِذْ قَالَ إِبْرَٰهِـۧمُ رَبِّ أَرِنِى كَيْفَ تُحْىِ ٱلْمَوْتَىٰ ۖ قَالَ أَوَلَمْ تُؤْمِن ۖ قَالَ بَلَىٰ وَلَٰكِن لِّيَطْمَئِنَّ قَلْبِى ۖ قَالَ فَخُذْ أَرْبَعَةً مِّنَ ٱلطَّيْرِ فَصُرْهُنَّ إِلَيْكَ ثُمَّ ٱجْعَلْ عَلَىٰ كُلِّ جَبَلٍ مِّنْهُنَّ جُزْءًا ثُمَّ ٱدْعُهُنَّ يَأْتِينَكَ سَعْيًا ۚ وَٱعْلَمْ أَنَّ ٱللَّهَ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٢٦٠﴾

イブラーヒームが、「主よ、あなたは死者をどう甦らせられるのかわたしに見せて下さい。」と言った時（のことを思え）。主は言われた。「あなたは信じないのか。」かれは申し上げた「いや、只わたしの心を安らげたいのであります。」かれは言われた。「4羽の鳥をとって、それらを手元に集め切り刻み、それからかれらの一部をそれぞれの丘の上に置いて、それらを呼べ、かれらは急いであなたの許に来るであろう。それであなたは、アッラーが偉力ならびなく英明であられることが分るであろう。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:260

信頼される学者たちの解説

預言者イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ はアッラーの力を疑ったのではない。彼は心が安らぐように（リ・ヤトマインナ・カルビー）見ることを願ったのである。**イマーム・イブン・カスィール**は、アッラーがイブラーヒームに四羽の鳥を取り、切って混ぜ、その一部をいくつかの丘の上に置き、それから呼ぶよう命じられ — すると鳥たちは急いでやって来たと述べている。アッラーは説明だけでなく、実演と体験によって

教えられた。すでにある信仰が、想像でき、目で見られる体験によって強められたのである。タフスィール・イブン・カスィール 2:260

覆い被さるもの章 88:17–20

أَفَلَا يَنظُرُونَ إِلَى ٱلْإِبِلِ كَيْفَ خُلِقَتْ ﴿١٧﴾

かれらは骆駝に就いて、如何に創られたかを考えてみないのか。

وَإِلَى ٱلسَّمَآءِ كَيْفَ رُفِعَتْ ﴿١٨﴾

また天に就いて、如何に高く掲げられたか、

وَإِلَى ٱلْجِبَالِ كَيْفَ نُصِبَتْ ﴿١٩﴾

また山々に就いて、如何に据え付けられているか、

وَإِلَى ٱلْأَرْضِ كَيْفَ سُطِحَتْ ﴿٢٠﴾

また大地に就いて、如何に広げられているかを。

日本語訳：三田了一 — quran.com/88:17-20

四つの問い「アファラー・ヤンズルーン」（かれらは見ないのか）は、アラブの聞き手に、日々の生活の中にあるラクダ、空、山、大地を想像させ、それを新しい目で見るよう促している。**シャイフ・サアディー**は、この見よという命令は思索せよという命令であり、創造主を知ることへと導くと説明する。積極的な観察こそ想像の出発点である。タフスィール・サアディー 88:17

食卓章 5:31

فَبَعَثَ ٱللَّهُ غُرَابًا يَبۡحَثُ فِي ٱلۡأَرۡضِ لِيُرِيَهُۥ كَيۡفَ يُوَٰرِي سَوۡءَةَ أَخِيهِۚ قَالَ يَٰوَيۡلَتَىٰٓ أَعَجَزۡتُ أَنۡ أَكُونَ مِثۡلَ هَٰذَا ٱلۡغُرَابِ فَأُوَٰرِيَ سَوۡءَةَ أَخِيۖ فَأَصۡبَحَ مِنَ ٱلنَّٰدِمِينَ ٣١

その時アッラーは、1羽の大カラスを遣わして地を掘らせ、その弟の死体を、如何に覆うべきかをかれに示された。かれは言った。「ああ情けない兄弟の死体を葬るのに、わたしはこのカラス程のことさえ出来ないのか。」こうしてかれは後悔する者の1人となった。

日本語訳：三田了一 — quran.com/5:31

人類史上、観察による学びの最初の物語である。カービールは一羽のカラスのすることを見て、兄弟の遺体を埋めることを学んだ。アッラーは視覚的な手本を通じて「教える」ことを選ばれたのである。

ハディース — 『スナン・アビー・ダーウード』4932番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَوْفٍ، حَدَّثَنَا سَعِيدُ بْنُ أَبِي مَرْيَمَ، أَخْبَرَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، قَالَ حَدَّثَنِي عُمَارَةُ بْنُ غَزِيَّةَ، أَنَّ مُحَمَّدَ بْنَ إِبْرَاهِيمَ، حَدَّثَهُ عَنْ أَبِي سَلَمَةَ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ عَائِشَةَ، رضى الله عنها قَالَتْ قَدِمَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مِنْ غَزْوَةِ تَبُوكَ أَوْ خَيْبَرَ وَفِي سَهْوَتِهَا سِتْرٌ فَهَبَّتْ رِيحٌ فَكَشَفَتْ نَاحِيَةَ السِّتْرِ عَنْ بَنَاتٍ لِعَائِشَةَ لُعَبٍ فَقَالَ « مَا هَذَا يَا عَائِشَةُ ». قَالَتْ بَنَاتِي. وَرَأَى بَيْنَهُنَّ فَرَسًا لَهُ جَنَاحَانِ مِنْ رِقَاعٍ فَقَالَ « مَا هَذَا الَّذِي أَرَى وَسْطَهُنَّ ». قَالَتْ فَرَسٌ. قَالَ « وَمَا هَذَا الَّذِي عَلَيْهِ ». قَالَتْ جَنَاحَانِ. قَالَ « فَرَسٌ لَهُ جَنَاحَانِ ». قَالَتْ أَمَا سَمِعْتَ أَنَّ لِسُلَيْمَانَ خَيْلاً لَهَا أَجْنِحَةٌ قَالَتْ فَضَحِكَ حَتَّى رَأَيْتُ نَوَاجِذَهُ.

日本語訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言った。アッラーの使徒 ﷺ がタブークかハイバルの遠征から戻られたとき、彼女の物入れの前には一枚の幕が掛かっていた。風が吹いて幕の一部がめ

くれ、アーイシャの人形が見えた。彼は尋ねられた。「アーイシャよ、これは何か？」彼女は答えた。「私の人形です。」彼はその中に布切れで作った二枚の翼のある馬を見て、尋ねられた。「その真ん中に見えるこれは何か？」彼女は答えた。「馬です。」彼は尋ねられた。「その上にあるこれは何か？」彼女は答えた。「二枚の翼です。」彼は尋ねられた。「二枚の翼のある馬？」彼女は答えた。「スライマーン様には翼のある馬がいたとお聞きになりませんでしたか？」アーイシャは言った。すると彼は奥歯が見えるほどお笑いになった。

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ムハンマド・イブン・アウフ・ターイー ← サイード・イブン・アビー・マルヤム ← ヤフヤー・イブン・アイユーブ・ガーフィキー ← ウマーラ・イブン・ガズィーヤ ← ムハンマド・イブン・イブラーヒーム・タイミー ← アブー・サラマ・イブン・アブドゥッラフマーン ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・アブー・ダーウードが『スナン・アビー・ダーウード』「礼儀作法の書」、「人形遊び」の章、ハディース 4932 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— シャイフ・アルバーニーによる判定（sunnah.com の表示による）。

ソース：https://sunnah.com/abudawud:4932

アーイシャの人形のハディースについての解説 رضى الله عنها

イマーム・イブン・ハジャル・アスカラーニーは『ファトフ・アル＝バーリー』（『サヒーフ・ブハーリー』6130 番の、人形で遊ぶアーイシャのハディースの注釈）において、女の子の遊び用の人形は像の禁止から除外されるという大多数の学者の見解を引用している。そこにはタドリーブ — 家庭を切り盛りし子を育てるための早期の訓練 — があるからである。**イマーム・ハッタービー**も『マアーリム・アッ＝スナン』でこの訓練の英知に触れている。

アッラーの使徒 ﷺ がどのように接されたかを見てほしい。彼は叱りも、軽んじもしなかった。彼は尋ねられた — 「これは何か？」「その上にあるのは何か？」 — アーイシャに自分の作ったものを説明させる、開かれた問いである。翼のある馬は想像の産物であった。そして問い返されると、アーイシャは預言者スライマーンの物語

（38:31–33 参照）を根拠にそれを弁護した。想像、推論、そして啓示の知識が、一つの子どもの遊びの中で出会ったのである。彼の反応は？奥歯が見えるほどの笑い — 創造性への温かい評価である。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』6417 番

حَدَّثَنَا صَدَقَةُ بْنُ الْفَضْلِ، أَخْبَرَنَا يَحْيَى، عَنْ سُفْيَانَ، قَالَ حَدَّثَنِي أَبِي، عَنْ مُنْذِرٍ، عَنْ رَبِيعِ بْنِ خُثَيْمٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ خَطَّ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم خَطًّا مُرَبَّعًا، وَخَطَّ خَطًّا فِي الْوَسَطِ خَارِجًا مِنْهُ، وَخَطَّ خُطُطًا صِغَارًا إِلَى هَذَا الَّذِي فِي الْوَسَطِ، مِنْ جَانِبِهِ الَّذِي فِي الْوَسَطِ وَقَالَ « هَذَا الإِنْسَانُ، وَهَذَا أَجَلُهُ مُحِيطٌ بِهِ ـ أَوْ قَدْ أَحَاطَ بِهِ ـ وَهَذَا الَّذِي هُوَ خَارِجٌ أَمَلُهُ، وَهَذِهِ الْخُطُطُ الصِّغَارُ الأَعْرَاضُ، فَإِنْ أَخْطَأَهُ هَذَا نَهَشَهُ هَذَا، وَإِنْ أَخْطَأَهُ هَذَا نَهَشَهُ هَذَا ».

日本語訳：

アブドゥッラー（イブン・マスウード） رضى الله عنه は言った。預言者 ﷺ は四角形を描き、その真ん中にそれを越えて外に出る一本の線を描き、その真ん中の線に向かって横から小さな線をいくつも描かれた。そして言われた。「これが人間であり、これが彼を取り囲む寿命である — あるいは、すでに取り囲んでいる — そして外に出ているこの線が彼の望みであり、これらの小さな線が災難である。これを逃れれば、これが彼をかみ、これを逃れれば、これが彼をかむのである。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：サダカ・イブン・ファドル ← ヤフヤー・イブン・サイード・カッターン ← スフヤーン・サウリー ← その父 サイード・イブン・マスルーク ← ムンズィル・イブン・ヤアラー ← ラビーウ・イブン・フサイム ← アブドゥッラー・イブン・マスウード رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「心を和らげることの書」、「望みとその長さ」の章、ハディース 6417 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:6417

アッラーの使徒 ﷺ は、寿命、望み、災難という抽象的な概念を、**図を描くこと**によって教えられた。これは、目に見えない概念を想像するよう聞き手を訓練する視覚

的な教え方である。イブン・ハジャルは『ファトフ・アル＝バーリー』でこの図の線の一本一本を詳しく解説しており、学者たちがこの方法をいかに重んじていたかを示している。

科学的知見：想像と記憶は脳のネットワークを共有する

Schacter と Addis（2007）は、未来の出来事を想像することが、過去を思い出すことと同じ脳のネットワークを使うことを示した。彼らの「構成的エピソード・シミュレーション」仮説によれば、脳は経験の断片を組み立て直して新しい場面を作る ― 想像は知識の反対ではなく、知識の使い方なのである。別の研究で、Lillard ら（2013）は子どものごっこ遊びに関する研究を見直した。正直に言えば、彼らはごっこ遊びが創造性、言語、自己制御の発達と関連していることを見出したが、それがその発達の唯一の原因であるという証拠はまだ弱く、まちまちである。均衡のとれた結論は、想像は人間の学び方の一部であり、脇に追いやるのではなく、場を与えるべきだということである。

研究文献：

Schacter DL & Addis DR (2007). The cognitive neuroscience of constructive memory: remembering the past and imagining the future. Phil Trans R Soc B 362:773–786. https://doi.org/10.1098/rstb.2007.2087

Lillard AS et al. (2013). The impact of pretend play on children's development: a review of the evidence. Psychological Bulletin 139(1):1–34. https://doi.org/10.1037/a0029321

感情なしに学ぶことはできない

何世紀もの間、教育哲学の一部は「理性」を「感情」から切り離し、あたかも感情が学びの妨げにすぎないかのように扱ってきた。クルアーンとスンナは決してそうしなかった。最も偉大な教育者アッラーの使徒 ﷺ を、アッラーはその感情の資質によって描いておられる。

イムラーン家章 3:159

فَبِمَا رَحْمَةٍ مِّنَ ٱللَّهِ لِنتَ لَهُمْ ۖ وَلَوْ كُنتَ فَظًّا غَلِيظَ ٱلْقَلْبِ لَٱنفَضُّوا۟ مِنْ حَوْلِكَ ۖ فَٱعْفُ عَنْهُمْ وَٱسْتَغْفِرْ لَهُمْ وَشَاوِرْهُمْ فِى ٱلْأَمْرِ ۖ فَإِذَا عَزَمْتَ فَتَوَكَّلْ عَلَى ٱللَّهِ ۚ إِنَّ ٱللَّهَ يُحِبُّ ٱلْمُتَوَكِّلِينَ ﴿١٥٩﴾

あなたがかれらを優しくしたのは、アッラーの御恵みであった。あなたがもしも薄情で心が荒々しかったならば、かれらはあなたの周囲から離れ去ったであろう。だからかれら（の過失）を許し、かれらのために（アッラーの）御赦しを請いなさい。そして諸事にわたり、かれらと相談しなさい。いったん決ったならば、アッラーを信頼しなさい。本当にアッラーは信頼する者を愛でられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/3:159

信頼される学者たちの解説

シャイフ・サアディーは、アッラーの使徒 ﷺ の優しさはアッラーからの慈悲であり、宗教の指導者の良い人柄は人々を宗教へと引き寄せ、厳しさと粗暴さは、たとえもたらすものが真理であっても人々を遠ざけると説明している。**イマーム・イブン・カスィール**は、彼が粗暴でも冷酷でもなかったことを伝えている。この節には明確な教育の原則がある。安心できる感情的なつながりがなければ、知識は届かないのである。タフスィール・サアディー 3:159

悔悟章 9:128

لَقَدْ جَآءَكُمْ رَسُولٌ مِّنْ أَنفُسِكُمْ عَزِيزٌ عَلَيْهِ مَا عَنِتُّمْ حَرِيصٌ عَلَيْكُم بِٱلْمُؤْمِنِينَ رَءُوفٌ رَّحِيمٌ ﴿١٢٨﴾

今、使徒があなたがたにあなたがたの間から、やって来た。かれは、あなたがたの悩みごと に心を痛め、あなたがたのため、とても心配している。信者に対し優しく、また情深い。

日本語訳：三田了一 — quran.com/9:128

アッラーはご自分の使徒を感情の言葉で描いておられる。アズィーズン・アライヒ・マー・アニットゥム — あなたがたの苦しみが彼には耐え難い。ハリースン・アライクム — あなたがたのために切に（善を）願う。ラウーフン・ラヒーム — 優しく慈悲深い。教育された教師は、生徒の苦しみを感じるのである。

戦利品章 8:2

إِنَّمَا ٱلْمُؤْمِنُونَ ٱلَّذِينَ إِذَا ذُكِرَ ٱللَّهُ وَجِلَتْ قُلُوبُهُمْ وَإِذَا تُلِيَتْ عَلَيْهِمْ ءَايَٰتُهُۥ زَادَتْهُمْ إِيمَٰنًا وَعَلَىٰ رَبِّهِمْ يَتَوَكَّلُونَ ﴿٢﴾

信者は、アッラーのことに話が進んだ時、胸が（畏敬の念で）戦く者たちで、かれらに印が読誦されるのを聞いて信心を深め、主に信頼する者たち、

日本語訳：三田了一 — quran.com/8:2

信仰そのものに感情の次元がある。アッラーの御名が唱えられるとおののく心である。心を震わせない知識は、まだ「降りて」いない知識なのである。

ダイーフ（弱い）ハディース（開示つき） — ブハーリーの『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』261 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ عَاصِمٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا سَعِيدُ بْنُ عُفَيْرٍ قَالَ: حَدَّثَنِي ابْنُ وَهْبٍ، عَنْ حَيْوَةَ بْنِ شُرَيْحٍ، عَنْ دَرَّاجٍ، عَنْ عِيسَى بْنِ هِلَالٍ الصَّدَفِيِّ، عَنْ عَبْدِ اللهِ بْنِ عَمْرِو بْنِ الْعَاصِ، عَنِ

النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ: إِنَّ رُوحَ الْمُؤْمِنَيْنِ لَيَلْتَقِيَانِ فِي مَسِيرَةِ يَوْمٍ، وَمَا رَأَى أَحَدُهُمَا صَاحِبَهُ.

日本語訳：

アブドゥッラー・イブン・アムル・イブン・アース رضى الله عنهما は、預言者 ﷺ がこう言われたと伝えた。「二人の信仰者の魂は、一日の道のりの距離で出会う。その一方は、自分の友を一度も見たことがないのに。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』の伝承：アフマド・イブン・アースィム ← サイード・イブン・ウファイル ← アブドゥッラー・イブン・ワフブ ← ハイワ・イブン・シュライフ ← ダッラージュ・アブー・ッ＝サムフ ← イーサー・イブン・ヒラール・サダフィー ← アブドゥッラー・イブン・アムル・イブン・アース رضى الله عنهما ← 預言者 ﷺ。

リンクの注記：sunnah.com は『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』の伝承者名にリンクを付けていない。上でリンクした伝承者は、sunnah.com に伝承者ページのある同一の伝承者である（『サヒーフ・ブハーリー』と『スナン・アビー・ダーウード』の伝承経路による）。アフマド・イブン・アースィム、ハイワ・イブン・シュライフ、ダッラージュ、イーサー・イブン・ヒラールには確認できる伝承者ページがないため、リンクしていない。

出典： イマーム・ブハーリーが『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』「良い人柄の書」、「親しみ（アル＝ウルファ）」の章、ハディース 261 番に伝える（sunnah.com では第 14 巻・ハディース 261）。

判定：ダイーフ（弱い）— シャイフ・アルバーニーは『ダイーフ・アル＝アダブ・アル＝ムフラド』（42 番）と『アッ＝スィルスィラ・アッ＝ダイーファ』（1947 番）でこれを弱いと判定した。伝承者ダッラージュ・アブー・ッ＝サムフについて意見が分かれ、多くのハディース学者が彼を弱いとしているためである。このハディースは要望により正直な開示とともに収録したものであり、根拠としては用いていない。その一般的な意味 — 信仰者同士の心の絆 — は、下記のブハーリー3336 番の真正なハディースによって支えられている。

確認：dorar.net（『ダイーフ・アル＝アダブ・アル＝ムフラド』42）

確認：dorar.net（『アッ＝スィルスィラ・アッ＝ダイーファ』1947）

ソース：https://sunnah.com/adab/14

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』3336 番（真正な補強のハディース）

قَالَ قَالَ اللَّيْثُ عَنْ يَحْيَى بْنِ سَعِيدٍ، عَنْ عَمْرَةَ، عَنْ عَائِشَةَ، رضى الله عنها قَالَتْ سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ « الأَرْوَاحُ جُنُودٌ مُجَنَّدَةٌ، فَمَا تَعَارَفَ مِنْهَا ائْتَلَفَ، وَمَا تَنَاكَرَ مِنْهَا اخْتَلَفَ ». وَقَالَ يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ حَدَّثَنِي يَحْيَى بْنُ سَعِيدٍ بِهَذَا.

日本語訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言った。私は預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いた。「魂は集められた軍勢のようなものである。互いに見知ったものは親しみ合い、互いに見知らぬものは離れ合う。」ヤフヤー・イブン・アイユーブは言った。ヤフヤー・イブン・サイードがこのハディースを私に語った。

伝承経路： イマーム・ブハーリーのタアリーク（経路を省いた形）の伝承：ライス・イブン・サアド ← ヤフヤー・イブン・サイード・アンサーリー ← アムラ・ビント・アブドゥッラフマーン ← アーイシャ رضى الله عنها。補強の経路：ヤフヤー・イブン・アイユーブ ← ヤフヤー・イブン・サイード。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「預言者たちの書」、「魂は集められた軍勢のようなものである」の章、ハディース 3336 番に伝える。

判定： サヒーフ ― ブハーリーはこれを断定の形（ジャズム）でタアリークとして伝えている。その意味は、イマーム・ムスリムもアブー・フライラ رضى الله عنه からつながった経路で伝えている（『サヒーフ・ムスリム』「善行と親族の絆の書」2638 番）。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:3336

この真正なハディースは、魂には「相性」があるという原則を定めている。互いに見知ったものは親しみ合う。**イマーム・ナワウィー**と**イブン・ハジャル**は、魂の間の親しみと相性はシャリーアが認める現実であると説明している。教育の文脈では、教師と生徒の心のつながりこそが知識の通り道である ― 生徒は好ましく思わない教師から学ぶことが難しいのである。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』6008 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدٌ، حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، حَدَّثَنَا أَيُّوبُ، عَنْ أَبِي قِلاَبَةَ، عَنْ أَبِي سُلَيْمَانَ، مَالِكِ بْنِ الْحُوَيْرِثِ قَالَ أَتَيْنَا النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم وَنَحْنُ شَبَبَةٌ مُتَقَارِبُونَ، فَأَقَمْنَا عِنْدَهُ

عِشْرِينَ لَيْلَةً، فَظَنَّ أَنَّا اشْتَقْنَا أَهْلَنَا، وَسَأَلَنَا عَمَّنْ تَرَكْنَا فِي أَهْلِنَا، فَأَخْبَرْنَاهُ، وَكَانَ رَفِيقًا رَحِيمًا فَقَالَ « ارْجِعُوا إِلَى أَهْلِيكُمْ فَعَلِّمُوهُمْ وَمُرُوهُمْ، وَصَلُّوا كَمَا رَأَيْتُمُونِي أُصَلِّي، وَإِذَا حَضَرَتِ الصَّلاَةُ فَلْيُؤَذِّنْ لَكُمْ أَحَدُكُمْ، ثُمَّ لِيَؤُمَّكُمْ أَكْبَرُكُمْ ».

日本語訳：

アブー・スライマーン・マーリク・イブン・フワイリス رضى الله عنه は言った。私たちは同じ年頃の若者として預言者 ﷺ のもとに来て、二十夜の間そばに滞在した。彼は私たちが家族を恋しく思っていると察して、家族の中に誰を残してきたかを尋ねられ、私たちはそれを伝えた。彼は優しく慈悲深い方であり、こう言われた。「家族のもとへ帰り、彼らに教え、（善を）命じなさい。私が礼拝するのを見たように礼拝しなさい。礼拝の時が来たら、あなたがたの一人がアザーンを唱え、それからあなたがたの中で最も年長の者が礼拝を導きなさい。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムサッダド・イブン・ムサルハド ← イスマーイール・イブン・ウライヤ ← アイユーブ・サフティヤーニー ← アブー・キラーバ ← アブー・スライマーン・マーリク・イブン・フワイリス رضى الله عنه ← 預言者 ﷺ。

出典： イマーム・ブハーリーが『サヒーフ・ブハーリー』「礼儀作法の書」、「人と動物への慈しみ」の章、ハディース 6008 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。

ソース：https://sunnah.com/bukhari:6008

マーリク・イブン・フワイリスのハディースについての解説 رضى الله عنه

このハディースは預言者の教育法の「事例研究」である。**第一に**、アッラーの使徒 ﷺ は感情に敏感であられた。若者たちが口にしなくても、家族を恋しく思っていることに気づかれた。**第二に**、彼は彼らの家族について尋ねられた — 個人的な気づかいを示されたのである。**第三に**、伝承者は彼の人柄をラフィーカン・ラヒーマン — 優しく慈悲深い — とまとめている。**第四に**、その教え方は手本であった。「私が礼拝するのを見たように礼拝しなさい。」**イブン・ハジャル**は『ファトフ・アル＝バーリー』で、このハディースをウンマに対する彼の優しさの証拠の一つとして挙げ

ている。若者たちが持ち帰った知識は、礼拝の仕方だけではなく、一人の師に愛された体験であった。

科学的知見：感情は学びへの入り口である

神経科学者 Mary Helen Immordino-Yang と Antonio Damasio（2007）は、脳損傷の患者の研究に基づき、感情と認知は切り離せないと論じた。感情がなければ、情報に意味が与えられず、決断も難しくなる。彼らは学校での学びの土台として *emotional thought*（感情を伴う思考）という言葉を提唱した。Tyng ら（2017）の総説は、感情が扁桃体と海馬の相互作用を通じて、注意、記憶の符号化と定着に影響を与えると結論づけている。感情を揺さぶる出来事は記憶されやすいのである。だからこそ、マーリク・イブン・フワイリスの体験のように、愛情をもって伝えられた教えは一生残るのである。

研究文献：

Immordino-Yang MH & Damasio A (2007). We feel, therefore we learn: the relevance of affective and social neuroscience to education. Mind, Brain, and Education 1(1):3–10. https://doi.org/10.1111/j.1751-228X.2007.00004.x
Tyng CM et al. (2017). The influences of emotion on learning and memory. Frontiers in Psychology 8:1454. https://doi.org/10.3389/fpsyg.2017.01454

知識のある人と教育された人

アーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ の物語からアッラーの使徒 ﷺ の教室までの旅を経て、私たちは今、二種類の人をはっきりと区別できる。**知識のある人** — 知識を所有する人。そして**教育された人** — 知識に所有される人。知識がその人柄を形づくり、舌を守り、人生をアッラーへと向けるのである。

合同礼拝章 62:5

مَثَلُ ٱلَّذِينَ حُمِّلُواْ ٱلتَّوۡرَىٰةَ ثُمَّ لَمۡ يَحۡمِلُوهَا كَمَثَلِ ٱلۡحِمَارِ يَحۡمِلُ أَسۡفَارَۢاۚ بِئۡسَ مَثَلُ ٱلۡقَوۡمِ ٱلَّذِينَ كَذَّبُواْ بِـَٔايَٰتِ ٱللَّهِۚ وَٱللَّهُ لَا يَهۡدِي ٱلۡقَوۡمَ ٱلظَّٰلِمِينَ ٥

律法（守護）の責任を負わされて、その後それを果たさない者を譬えれば、書物を運ぶロバのようなものである。アッラーの印を嘘であるとする者も同様で、哀れむべきである。本当にアッラーは悪い行いの者を御導きになられない。

日本語訳：三田了一 — quran.com/62:5

信頼される学者たちの解説

これは、知識はあっても教育されていない人についての、クルアーンで最も鋭いたとえである。大きな書物（アスファール）を背負うロバ。知識の重荷を運びながら、それを理解せず、そこから益も得ない。**イマーム・イブン・カスィール**は、この節は律法を授けられながらそれを実践しなかった啓典の民について下されたが、このウンマへの警告でもあると強調している。知識を授けられながらそれを実践しない者は、同じたとえに値するのである。タフスィール・イブン・カスィール 62:5

戦列章 61:2–3

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ لِمَ تَقُولُونَ مَا لَا تَفۡعَلُونَ ٢

信仰する者よ、あなたがたはどうして（自ら）行わないことを口にするのか。

كَبُرَ مَقْتًا عِندَ ٱللَّهِ أَن تَقُولُوا۟ مَا لَا تَفْعَلُونَ ﴿٣﴾

あなたがたが行わないことを口にするのは、アッラーが最も憎まれるところである。

日本語訳：三田了一 — quran.com/61:2-3

アッラーの「非常に大きな」憎しみ（カブラ・マクタン）は、言うだけで行わない者たちに向けられている。**シャイフ・サアディー**は、この節は言葉と行いの矛盾への厳しい非難を含み、善を呼びかける者こそ最初にそれを行うべきだと述べている。タフスィール・サアディー 61:2

集団章 39:9

أَمَّنْ هُوَ قَٰنِتٌ ءَانَآءَ ٱلَّيْلِ سَاجِدًا وَقَآئِمًا يَحْذَرُ ٱلْءَاخِرَةَ وَيَرْجُوا۟ رَحْمَةَ رَبِّهِۦ ۗ قُلْ هَلْ يَسْتَوِى ٱلَّذِينَ يَعْلَمُونَ وَٱلَّذِينَ لَا يَعْلَمُونَ ۗ إِنَّمَا يَتَذَكَّرُ أُو۟لُوا۟ ٱلْأَلْبَٰبِ ﴿٩﴾

夜に眠らず目を覚ましている時に、サジダしあるいは立って礼拝にうちこんで、来世に備え、また主の御慈悲を請い願う者（がそうではない者と同じであろうか）。言ってやるがいい。「知っている者と、知らない者と同じであろうか。」（しかし）訓戒を受け入れるのは、思慮ある者だけである。

日本語訳：三田了一 — quran.com/39:9

この節の文脈に注目してほしい。「知っている者と知らない者とが同じであろうか」という問いの前には、夜に崇拝し、跪拝し、立ち、来世を畏れ、主の慈悲を望む人の姿が描かれている。クルアーンの枠組みでは、「知っている者」とは、その知識が自分を礼拝の敷物へと導く人のことであって — 単に情報を持っている人のことではない。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』2722 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، وَإِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، وَمُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ نُمَيْرٍ، - وَاللَّفْظُ لاِبْنِ نُمَيْرٍ - قَالَ إِسْحَاقُ أَخْبَرَنَا وَقَالَ الآخَرَانِ، حَدَّثَنَا أَبُو مُعَاوِيَةَ، عَنْ عَاصِمٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ الْحَارِثِ، وَعَنْ أَبِي عُثْمَانَ النَّهْدِيِّ، عَنْ زَيْدِ بْنِ أَرْقَمَ، قَالَ لاَ أَقُولُ لَكُمْ إِلاَّ كَمَا كَانَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ كَانَ يَقُولُ « اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنَ الْعَجْزِ وَالْكَسَلِ وَالْجُبْنِ وَالْبُخْلِ وَالْهَرَمِ وَعَذَابِ الْقَبْرِ اللَّهُمَّ آتِ نَفْسِي تَقْوَاهَا وَزَكِّهَا أَنْتَ خَيْرُ مَنْ زَكَّاهَا أَنْتَ وَلِيُّهَا وَمَوْلاَهَا اللَّهُمَّ إِنِّي أَعُوذُ بِكَ مِنْ عِلْمٍ لاَ يَنْفَعُ وَمِنْ قَلْبٍ لاَ يَخْشَعُ وَمِنْ نَفْسٍ لاَ تَشْبَعُ وَمِنْ دَعْوَةٍ لاَ يُسْتَجَابُ لَهَا ».

日本語訳：

ザイド・イブン・アルカム رضى الله عنه は言った。私はあなたがたに、アッラーの使徒 ﷺ が言っておられたことだけを言おう。彼はこう祈っておられた。「アッラーよ、私は無力、怠惰、臆病、吝嗇、老衰、そして墓の懲罰からあなたに守りを求めます。アッラーよ、私の魂にその敬虔さを授け、それを清めてください。あなたこそそれを清める最良の御方、あなたこそその守護者であり主です。アッラーよ、私は役に立たない知識、謙虚にならない心、決して満たされない魂、そして聞き届けられない祈りから、あなたに守りを求めます。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：アブー・バクル・イブン・アビー・シャイバ、イスハーク・イブン・イブラーヒーム（イブン・ラーハワイフ）と ムハンマド・イブン・アブドゥッラー・イブン・ヌマイル ← アブー・ムアーウィヤ ← アースィム・アフワル ← アブドゥッラー・イブン・ハーリス と アブー・ウスマーン・ナフディー ← ザイド・イブン・アルカム رضى الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「唱念・祈願・悔悟・赦しを請うことの書」、「行いの悪から守りを求めること」の章、ハディース 2722 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2722

全人類の師であるアッラーの使徒 ﷺ は、役に立たない知識から守りを求められた。ハディースの注釈者たちは、役に立たない知識とは、実践されず、教えられず、持ち主の人柄を良くしない知識であると説明している。それが「謙虚にならない心」

と並べられていることを見てほしい — どちらも同じ病、つまり心に降りてこない知識なのである。

ハディース — 『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2417 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، أَخْبَرَنَا الأَسْوَدُ بْنُ عَامِرٍ، حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ عَيَّاشٍ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ سَعِيدِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ جُرَيْجٍ، عَنْ أَبِي بَرْزَةَ الأَسْلَمِيِّ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم « لاَ تَزُولُ قَدَمَا عَبْدٍ يَوْمَ الْقِيَامَةِ حَتَّى يُسْأَلَ عَنْ عُمْرِهِ فِيمَا أَفْنَاهُ وَعَنْ عِلْمِهِ فِيمَا فَعَلَ وَعَنْ مَالِهِ مِنْ أَيْنَ اكْتَسَبَهُ وَفِيمَا أَنْفَقَهُ وَعَنْ جِسْمِهِ فِيمَا أَبْلاَهُ ». قَالَ هَذَا حَدِيثٌ حَسَنٌ صَحِيحٌ. وَسَعِيدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ جُرَيْجٍ هُوَ بَصْرِيٌّ وَهُوَ مَوْلَى أَبِي بَرْزَةَ وَأَبُو بَرْزَةَ اسْمُهُ نَضْلَةُ بْنُ عُبَيْدٍ.

日本語訳：

アブー・バルザ・アスラミー رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「復活の日、僕の両足は、次のことを問われるまで動かない。その生涯を何に費やしたか、その知識で何をしたか、その財産をどこから得て何に使ったか、そしてその体を何に用いたか。」イマーム・ティルミズィーは言った。これはハサン・サヒーフのハディースである。サイード・イブン・アブドゥッラー・イブン・ジュライジュはバスラの人で、アブー・バルザの解放奴隷であり、アブー・バルザの名はナドラ・イブン・ウバイドである。

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アブドゥッラー・イブン・アブドゥッラフマーン・ダーリミー ← アスワド・イブン・アーミル ← アブー・バクル・イブン・アイヤーシュ ← アアマシュ ← サイード・イブン・アブドゥッラー・イブン・ジュライジュ ← アブー・バルザ・アスラミー رضى الله عنه ← アッラーの使徒 ﷺ。

出典： イマーム・ティルミズィーが『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』「復活の日・心を和らげること・慎みの描写の書」、「復活の日について」の章、ハディース 2417 番に伝える。

判定： イマーム・ティルミズィー自身によればハサン・サヒーフ（上の本文に記載）。正直な注記：sunnah.com に表示されているダールッサラーム版の判定はダイーフである。その意味 — あらゆる知識はその実践について問われる — は、戦列章 61:2–3 のようなクルアーンの証拠と一致している。

ソース：https://sunnah.com/tirmidhi:2417

学者たちの言葉： イマーム・ガザーリーは小論『わが子よ（アイユハー・アル＝ワラド）』で弟子に、行いのない知識は狂気であり、知識のない行いは成し遂げられないと諭している。また**アブドゥッラー・イブン・ムバーラク**から、昔の学者たちは知識を学ぶよりも長い時間をかけて礼節を学んだことがよく知られている。

簡単な比較

知識はある人	教育された人
情報と資格を持っている	知識が人柄と礼節を形づくる
なめらかな土地のよう ― 雨が降ってもしみ込まない（ブハーリー 79）	肥えた土地のよう ― 吸い込み、育て、他者に益をもたらす
書物を背負うロバのよう（62:5）	アーダムのよう ― 知り、そして服従し悔悟する（2:37）
タアディーブなきタアリーム	タルビヤ＋タアリーム＋タアディーブ
聞き、見て、考える ― 目的なしに	感謝のために用いる聴覚・視覚・心（16:78）
役に立たない知識（ムスリム 2722）	実践され、教えられる知識
言うだけで行わない（61:2–3）	手本：「私が礼拝するのを見たように礼拝しなさい」（ブハーリー 6008）

科学的知見：心を育てると学力が上がる

Durlak ら（2011）による大規模なメタ分析は、27 万人以上の生徒を対象とした、学校での 213 の社会性と情動の学習（SEL）プログラムを評価した。自己認識、感情の管理、共感、責任感を育てるプログラムは、行動と態度を改善しただけでなく、対照群に比べて学業成績を 11 パーセンタイル向上させた。言い換えれば、「教育すること」は「学ぶこと」を妨げるのではなく ― それを強めるのである。

研究文献：

Durlak JA et al. (2011). The impact of enhancing students' social and emotional learning: a meta-analysis of school-based universal interventions. Child Development 82(1):405–432. https://doi.org/10.1111/j.1467-8624.2010.01564.x

結び

アーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ とイブリースの物語は、最初から答えを示していた。知識は尊さの保証ではない。イブリースは知っていたが、傲慢であった。アーダム عَلَيْهِ السَّلَامُ は知り、そして服従した。イスラームにおける真の教育とは、愛情に満ちたタルビヤ、知識を伝えるタアリーム、そして礼節を植えつけるタアディーブの旅である — 聴覚・視覚・心を道具とし、想像を場とし、感情を入り口とし、タウヒードを目的とする旅である。

アッラーが私たちを、啓示の雨を吸い込み、行いを育て、他者に益をもたらす肥えた土地としてくださいますように — 水を注がれながら何も育てなかったなめらかな土地ではなく。そして私たちが常に、アッラーの使徒 ﷺ が祈られたように祈ることができますように。アッラーフンマ・インニー・アウーズ・ビカ・ミン・イルミン・ラー・ヤンファウ — アッラーよ、私は役に立たない知識からあなたに守りを求めます。

参考文献

クルアーンとタフスィール

聖クルアーン、ウスマーン版テキストと三田了一による日本語訳。https://quran.com

Ibn Kathir, Tafsir al-Qur'an al-'Azim. https://tafsir.app/ibn-katheer/1/1

Al-Qurtubi, al-Jami' li Ahkam al-Qur'an. https://tafsir.app/qurtubi/1/1

'Abd al-Rahman al-Sa'di, Taisir al-Karim al-Rahman. https://tafsir.app/saadi/1/1

ハディースと注釈

『サヒーフ・ブハーリー』『サヒーフ・ムスリム』『スナン・アビー・ダーウード』『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』 — 本文と伝承経路。https://sunnah.com

『アル＝マウスーア・アル＝ハディースィーヤ』（判定の確認）。https://dorar.net/hadith

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー・シャルフ・サヒーフ・アル＝ブハーリー』、ナワウィー『アル＝ミンハージュ・シャルフ・サヒーフ・ムスリム』、ハッタービー『マアーリム・アッ＝スナン』、イブン・ラジャブ・ハンバリー『ジャーミウ・アル＝ウルーム・ワ・アル＝ヒカム』、カーディー・イヤード『タルティーブ・アル＝マダーリク』。

イスラーム教育思想

ガザーリー『イフヤー・ウルーム・アッ＝ディーン』（知識の書）および『わが子よ（アイユハー・アル＝ワラド）』、イブン・ハルドゥーン『歴史序説（ムカッディマ）』、ラーギブ・イスファハーニー『アル＝ムフラダート・フィー・ガリーブ・アル＝クルアーン』、サイイド・ムハンマド・ナキーブ・アル＝アッタース『*The Concept of Education in Islam*』（ABIM、1980 年）。

科学研究

Maguire EA et al. (2000). Navigation-related structural change in the hippocampi of taxi drivers. PNAS 97(8):4398–4403. https://doi.org/10.1073/pnas.070039597

Draganski B et al. (2004). Neuroplasticity: changes in grey matter induced by training. Nature 427:311–312. https://doi.org/10.1038/427311a

Graven SN & Browne JV (2008). Auditory development in the fetus and infant. Newborn and Infant Nursing Reviews 8(4):187–193. https://doi.org/10.1053/j.nainr.2008.10.010

Schacter DL & Addis DR (2007). The cognitive neuroscience of constructive memory: remembering the past and imagining the future. Phil Trans R Soc B 362:773–786. https://doi.org/10.1098/rstb.2007.2087

Lillard AS et al. (2013). The impact of pretend play on children's development: a review of the evidence. Psychological Bulletin 139(1):1–34. https://doi.org/10.1037/a0029321

Immordino-Yang MH & Damasio A (2007). We feel, therefore we learn: the relevance of affective and social neuroscience to education. Mind, Brain, and Education 1(1):3–10. https://doi.org/10.1111/j.1751-228X.2007.00004.x

Tyng CM et al. (2017). The influences of emotion on learning and memory. Frontiers in Psychology 8:1454. https://doi.org/10.3389/fpsyg.2017.01454

Durlak JA et al. (2011). The impact of enhancing students' social and emotional learning: a meta-analysis of school-based universal interventions. Child Development 82(1):405–432. https://doi.org/10.1111/j.1467-8624.2010.01564.x

支援と寄付

本書はムスリムのために**完全に無料**で公開されており、**決して販売してはならない**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営、さらなる電子書籍の出版のためのご寄付を心より歓迎する — ただし**義務ではない**。アッラーがすべてのご寄付を、継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）として受け入れてくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど1粒が7穂を付け、1穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。「本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと伝えた。「施しは財産を減らさない。赦す僕に、アッラーは尊厳を増すことしかなさらない。そしてアッラーのために謙虚になる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「善行・礼儀・親族の絆の書」、「赦しと謙虚さの奨励」の章、ハディース 2588 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと伝えた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し、役に立つ知識、または彼のために祈る善良な子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ、クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリムが『サヒーフ・ムスリム』「遺言の書」、「死後に人に届く報奨」の章、ハディース 1631 番に伝える。

判定： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（アッラーが皆さまに豊かな善で報いてくださいますように）



上の QR コード（DuitNow、マレーシア）を読み取ってご寄付ください。

寄付する

海外からのご寄付：「寄付する」ボタンをクリックするか、次をご覧ください
paypal.me/quranscience